

## 9.1 環境学習用資料（事前学習用）

### 環境学習用資料（第1回・第2回分を統合）



広大なサロベツ湿原

日本国内で?番目に大きな湿原

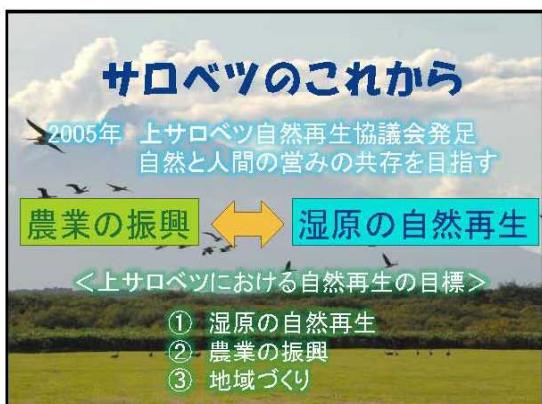
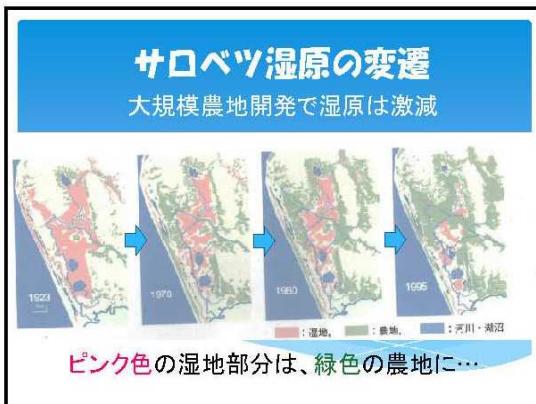
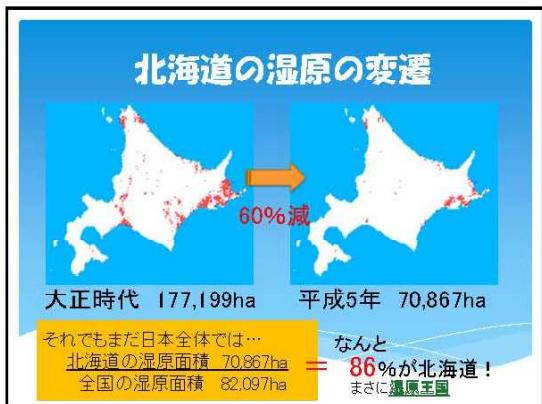
1位:釧路湿原	18,290ha
2位:別寒刃牛湿原	8,300ha
3位:サロベツ湿原	6,700ha

※そのうち、少なくとも562ha、推定1,000ha以上が高層湿原

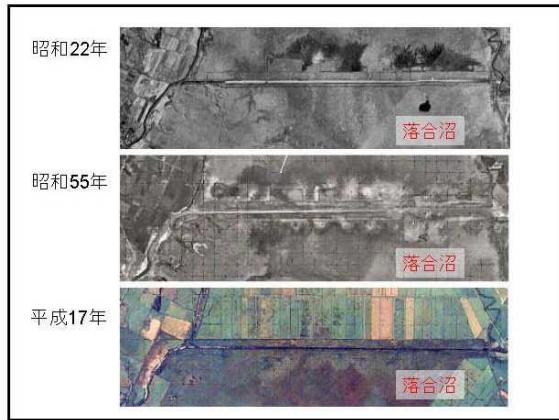
→ (低地における)日本最大の高層湿原！

(参考) 尾瀬ヶ原湿原 780ha (本州最大。大部分が高層湿原)





環境学習用資料(事前学習用・環境省提供・サロベツ放水路南側)

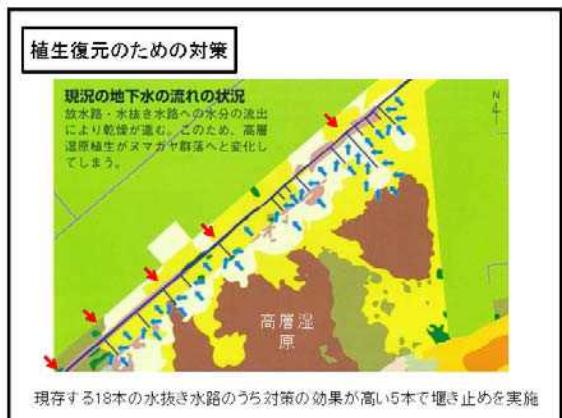




**上サロベツ自然再生協議会**

- 平成17年1月 設立
- 平成24年9月現在 54個人・団体が参画

環境省  
農業の振興  
地域づくり  
北海道  
林野庁  
豊富町  
北海道開拓局  
専門家  
地域の方々  
NPO法人さくらの里ワーク

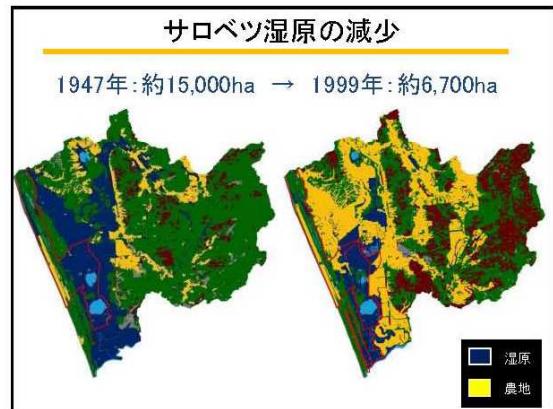


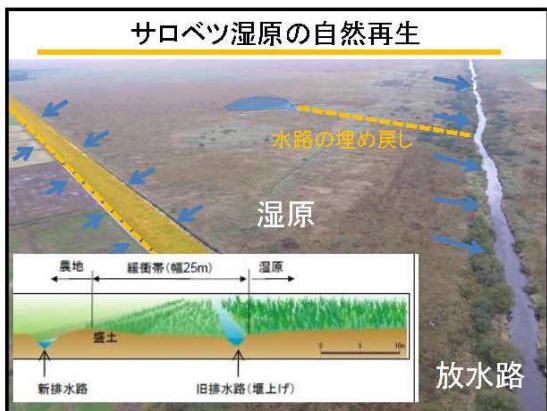
## 水抜き水路

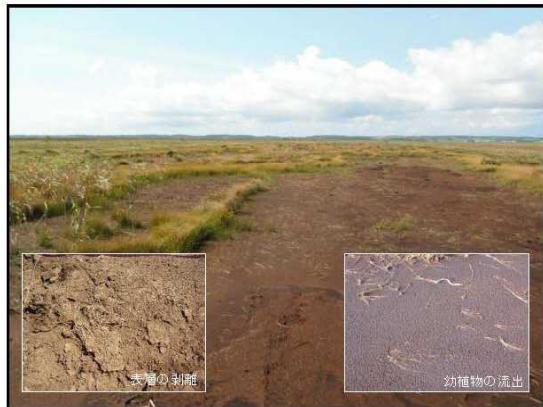


植生復元のための対策 2012年5月 水抜き水路の埋め戻し、落合沼の堰止め(土堤)







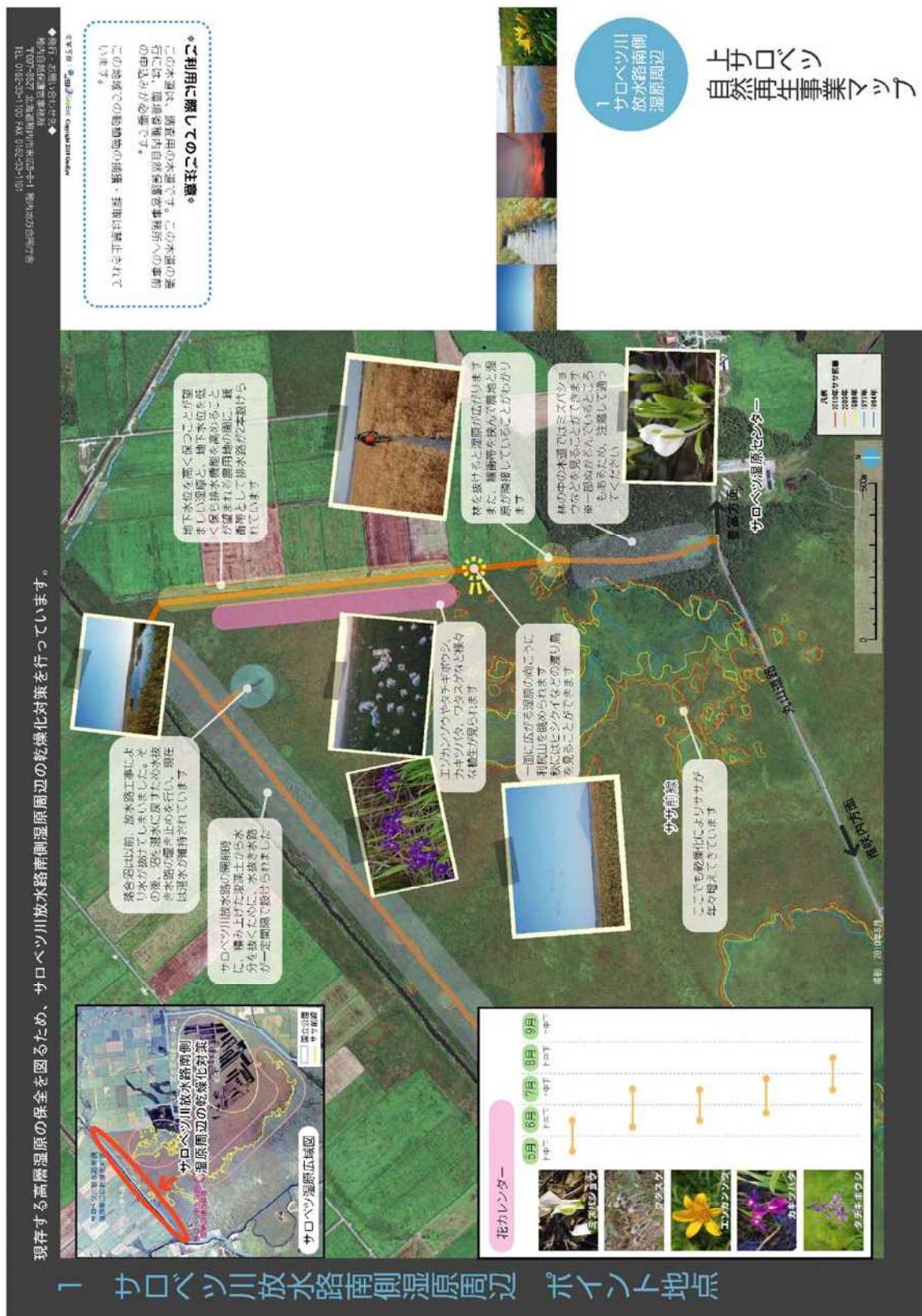


再生手法	
2つの手法の組合せにより最適な手法を検討	
再生手法	内容
ネットの設置	生育している植物の生育を妨げずに新たな種子を捕捉することをねらう 【目合い3パターン】 15cm、3~5cm、2cm
溝の造成	多様な水分条件を創出することにより植物の定着を促進することをねらう 【深さ2パターン】 20cm、10cm





自然再生事業マップ(サロベツ放水路南側) H23年度製作



## 上サロベツリ放水路南側湿原周辺における自然再生の取組み

### 環境省の取組み

過去に造成された自然環境を取り戻すため、園芸組団、NPO、研究者などの地元の多様な主体が参加して、自然環境の整備、再生、再生・演出等を行うことを目とされています。

【具体的な手順】

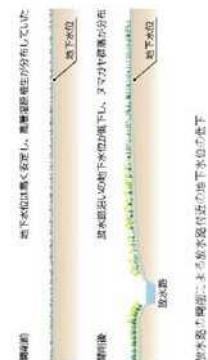
- ・自然化された河川の蛇行化による湿地の回復
- ・湿地再生における干潟の再生や森づくり等
- ・湿地再生事業における干潟の再生や森づくり等
- ・サロベツ原生花園地地帯の修復
- ・尾根垣根地帯の再生
- ・環境学習の推進



サロベツリ放水路南側湿原周辺では次のこととが問題になっています

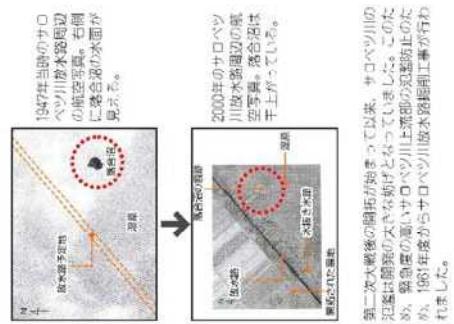
■水抜き水路の覆止め  
落合沼では、水抜き水路への覆いの設置または無いまま進行し、落合沼跡の排水及び水路に覆止めを設置しています。また、落合沼の地下下水位を削除し、落合沼より外の水抜き水路も埋め戻すことによって、背後の高層湿原地帯を維持します。また、落合沼により浸食している周辺の植生や木本の高層湿原地帯に近づけます。

■回復のメカニズム



放水路と開拓によって地下水位が低下

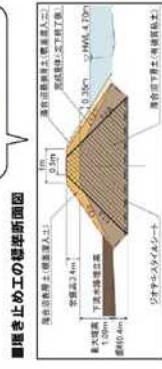
### サロベツリ放水路南側湿原周辺の歴史



第一次大戦後の開拓が始まっていますが、サロベツ川の江差側開拓が大きな効果となっていました。このため、開拓事業からサロベツ川放水路開削工事が行われました。

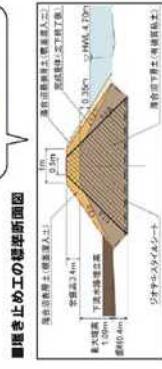
・サロベツ原生花園地地帯の修復

・尾根垣根地帯の再生



・サロベツ原生花園地地帯の修復

・尾根垣根地帯の再生



次のこととであります-1

次のこととであります-2

■落合沼の覆止め

■水抜き水路の覆止め  
落合沼では、水抜き水路への覆いの設置または無いまま進行し、落合沼跡の排水及び水路に覆止めを設置しています。また、落合沼の地下下水位を削除し、落合沼より外の水抜き水路も埋め戻すことによって、背後の高層湿原地帯を維持します。また、落合沼により浸食している周辺の植生や木本の高層湿原地帯に近づけます。



自然再生事業マップ(泥炭採掘跡地) H23 年度製作



## 自然再生事業とは

過去に掘られた自然環境を取り戻すため、間伐期間、地盤改良、NPO、専門家などの多様な主体が参画して、自然環境の保全、再生、新設を行うことを目的としています。

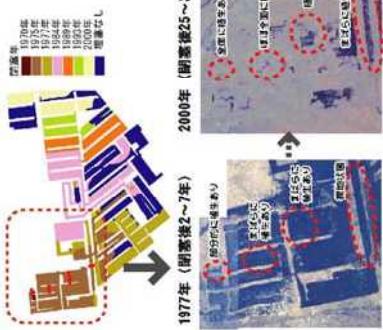
【具体的な事業】  
・薪幕などによる泥炭の回復  
・海岸整備における干潟の再生や森づくりなど



泥炭採掘跡地では、次のことになります

泥炭採掘跡地では、依然として植生が定着しない場所（裸地）が見られます。

### ■植生の変遷



## 上サロベツにおける自然再生の取組み

### 環境省の取組み

かつては約5,000haにも及ぶサロベツ湿原は、昭和50年代後半の大規模開拓により減少し、今ではがつての半分以下の約7,000haとなっています。また、残された湿地も急速化などでの影響を受けています。

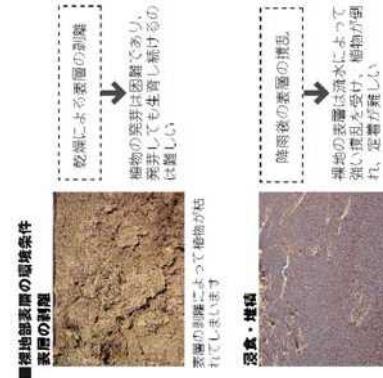
【具体的な事業】  
・薪幕による泥炭の回復  
・海岸整備における干潟の再生や森づくりなど



泥炭採掘跡地では、次のことを目指しています

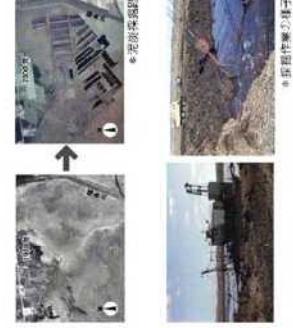
泥炭採掘跡地において、降雨による浸食や乾燥による定着が見られない裸地などにより、植物の定着が不足します。

### ■裸地部表面の環境条件



## 泥炭採掘跡地の歴史

先祖には、土質改良剤、肥料剤、燃料など様々な工業的利用価値があります。サロベツでは、これなりの価値が注目され、昭和45年（1970年）から平成11年（2002年）まで山形県で泥炭採掘が行われました。泥炭採掘は約2年間で高層湿原を中心に約100haあまりの面積に及びました。これは、根深地盤の活躍で現在でも丸山南部は泥炭採取跡地であることが現れています。



## 泥炭採掘跡地等の再生

環境省では、「土作りツツ」自然再生企画実験班にこれまで自然再生の目標達成するか検討を行っている。土作りツツの実験結果は以下の通り、泥炭採取跡地の再生、地盤の自然化、資源の活用及び再生技術等を行っています。具体的な事業は、「土作りツツ」自然再生企画実験班に委託され、以下の事業に取組んでいます。

・サロベツ川放水路新規開削周辺の施設化事業

・サロベツ原生花園開拓地の整備

・泥炭探査地跡の再生

・環境学習の推進



## 次のことについています-1

■泥炭の防護や表土の保護

泥炭の造成・乾燥化の防止  
泥を造成することによって水が滲まることなく、乾燥を抑えます。



泥を造成することによって水が滲まることなく、乾燥を抑えます。



## 次のことについています-2

泥炭の造成・乾燥化の防止  
泥を造成することによって水が滲まることなく、乾燥を抑えます。

泥を造成することによって水が滲まることなく、乾燥を抑えます。



泥を造成することによって水が滲まることなく、乾燥を抑えます。



10cm

## 9.2 環境学習ツアーに関するアンケート用紙

### サロベツ・エコモー・ツアーに関するアンケート

第1回  
9/28

本日は、「サロベツ・エコモー・ツアー」にご参加いただき、ありがとうございます。  
今後のサロベツ自然再生の取組や検討にみなさまのご意見を活かしていくため、アンケートにご協力ください。

#### ■「サロベツ・エコモー・ツアー」について（あてはまるものに○をつけて下さい）

問1 あはなは、本日の「サロベツ・エコモー・ツアー」について、何で知りましたか？【複数回答可】

- ①チラシ・ポスター ②新聞 ③口コミ ④マーリングリスト ⑤ホームページ ⑥その他（ ）

問2 本日の「サロベツ・エコモー・ツアー」で、興味をひいたものは何ですか？【複数回答可】

- ①落合沼 ②水抜き水路 ③緩衝帯 ④湿原の自然や景観（利尻山など）  
⑤その他（ ）

問3 「サロベツ・エコモー・ツアー」に参加して、自然再生事業についてわかりましたか？【一つだけ】

- ①よくわかった ②わかった ③どちらともいえない ④わからなかった

問4 「サロベツ・エコモー・ツアー」の実施時間はいかがでしたか？【一つだけ】

- ①長い ②やや長い ③ちょうどよい ④やや短い ⑤短い

問5 「サロベツ・エコモー・ツアー」でのガイドの説明はわかりやすかったですか？【一つだけ】

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③どちらともいえない ④わかりにくかった

問6 今後もこのようなツアーがあった場合、参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問7 上記の問6で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問8 ツアー全体を通して、ご意見・ご感想があればお書きください

自由記述（ ）

#### ■サロベツ自然再生事業について

問9 サロベツ自然再生事業への関心は高まりましたか？【一つだけ】

- ①高まった ②少し高まった ③どちらともいえない ④あまり高まらない ⑤高まらない

問10 サロベツ自然再生事業に関する活動に参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ活動したい ②都合がつけば活動したい ③あまり活動したくない ④活動したくない ⑤わからない

問11 上記の問9で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問12 サロベツ自然再生に向けて、どのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】

- ①パネルなどのPR ②体験ツアー ③農業者との語らい ④特産品づくり ⑤子ども対象イベント  
⑥その他（ ）

問13 あなた自身についてお答えください

(1) 性別： 男性・女性 (2) 年代：( ) 歳代 (3) お住まい：( ) 市町村)  
ご協力ありがとうございました

## サロベツ・エコモー・ツアーに関するアンケート

第2回  
10/19

本日は、「サロベツ・エコモー・ツアー」にご参加いただき、ありがとうございます。  
今後のサロベツ自然再生の取組や検討にみなさまのご意見を活かしていくため、アンケートにご協力ください。

### ■「サロベツ・エコモー・ツアー」について（あてはまるものに○をつけて下さい）

問1 あはたは、本日の「サロベツ・エコモー・ツアー」について、何で知りましたか？ 【複数回答可】

- ①チラシ・ポスター ②新聞 ③口コミ ④メーリングリスト ⑤ホームページ ⑥その他（ ）

問2 本日の「サロベツ・エコモー・ツアー」で、興味をひいたものは何ですか？ 【複数回答可】

- ①泥炭採掘の歴史 ②採掘跡地の現状 ③採掘跡地の植生回復の取り組み ④ニッテンピートの工場見学  
⑤湿原の自然や景観（利尻山など） ⑥その他（ ）

問3 「サロベツ・エコモー・ツアー」に参加して、自然再生事業についてわかりましたか？【一つだけ】

- ①よくわかった ②わかった ③どちらともいえない ④わからなかつた

問4 「サロベツ・エコモー・ツアー」の実施時間はいかがでしたか？【一つだけ】

- ①長い ②やや長い ③ちょうどよい ④やや短い ⑤短い

問5 「サロベツ・エコモー・ツアー」でのガイドの説明はわかりやすかったです？【一つだけ】

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③どちらともいえない ④わかりにくかった

問6 今後もこのようなツアーがあった場合、参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問7 上記の問6で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問8 ツアー全体を通して、ご意見・ご感想があればお書きください

自由記述（ ）

### ■サロベツ自然再生事業について

問9 サロベツ自然再生事業への関心は高まりましたか？【一つだけ】

- ①高まった ②少し高まった ③どちらともいえない ④あまり高まらない ⑤高まらない

問10 サロベツ自然再生事業に関する活動に参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ活動したい ②都合がつけば活動したい ③あまり活動したくない ④活動したくない ⑤わからない

問11 上記の問9で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問12 サロベツ自然再生に向けて、どのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】

- ①パネルなどでのPR ②体験ツアー ③農業者との語らい ④特産品づくり ⑤子ども対象イベント  
⑥その他（ ）

問13 あなた自身についてお答えください

(1) 性別： 男性・女性 (2) 年代：( ) 歳代 (3) お住まい：( ) 市町村)

ご協力ありがとうございました

### 9.3 エコモーDayに関するアンケート用紙

#### サロベツ・エコモーDayに関するアンケート

10/14  
開催

本日は「エコモーDay」にご参加いただき、ありがとうございます。  
今後のサロベツ自然再生の取組や検討にみなさまのご意見を活かしていくため、アンケートにご協力ください。

あてはまるものに○をつけて下さい

問1 あなたは本日の「エコモーDay」について、何で知りましたか？【複数回答可】

- ①チラシ・ポスター ②新聞 ③口コミ ④メーリングリスト ⑤ホームページ ⑥ラジオ  
⑦その他（ ）

問2 本日の「エコモーDay」で、興味をひいたものは何ですか？【複数回答可】

- ①サロベツを食べよう（豊富牛乳を使ったメニューの試食会） ②秋の木道観察会 ③エコモー交流会  
④渡瀬船に乗ってみよう ⑤トラクターに乗ってみよう ⑥牧草ロールの展示 ⑦ボニーの幌馬車  
⑧自然再生パネル展 ⑨クイズラリー ⑩その他（ ）

問3 サロベツで自然再生に向けた取り組みが行われていたことはご存知でしたか？【一つだけ】

- ①全く知らなかった ②聞いたことはあった ③だいたい知っていた ④よく知っていた

問4 サロベツ湿原や農業の共生について、どのようなことに興味を持ちましたか？【複数回答可】

- ①サロベツ湿原の自然（植物や動物） ②豊富町の農業 ③開拓の歴史 ④自然再生の取り組み  
⑤その他（ ）

問5 上記の問4で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問6 「エコモーDay」に参加して、湿原と農業の共生について関心が高まりましたか？【一つだけ】

- ①大きく関心が高まった ②関心が高まった ③どちらともいえない ④関心が高まらなかった

問7 今後もこのようなイベントがあった場合、参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問8 自然再生の取り組みをより身近に感じるために、今後どのようなことが必要だと思いますか？【複数回答可】

- ①パネル等でのPR ②体験ツアー ③農業者との語らい ④特産品づくり  
⑤子ども対象イベント ⑥研究結果などの報告 ⑦その他（ ）

問9 イベント全体を通じて、ご意見・ご感想があればお書きください。

自由記述（ ）

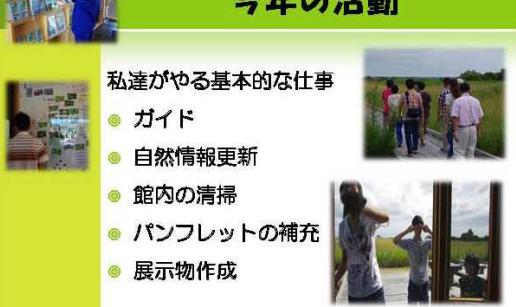
問10 あなた自身についてお答えください。

(1) 性別： 男性・女性 (2) 年代：（ ）歳代 (3) お住まい：（ ）市町村

ご協力ありがとうございました

## 9.4 エコモー交流会発表資料 (豊富高校生)

<h3>豊富高校サフレンジャー 活動報告</h3>  <p>&lt;北海道豊富高等学校&gt; 石川勇馬・大藤千春・塙上孝規・石川貴太 (桑田誕・谷口すみれ・樺本好美)</p>	<h3>なぜ、サフレンジャーを 志望したのか？～その1～</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会に出る前に、仕事を経験してみたかった。</li> <li>● 職場でのマナーを学びたかった。</li> <li>● 様々な事態への対処を覚えたかった。</li> <li>● 自然保護の活動をしてみたかった。</li> <li>● 自分自身の視野をひろげたかった。</li> <li>● 色々な人と交流してみたかった。</li> </ul> <p>1年 石川勇馬</p> 
---	---

<h3>なぜ、サフレンジャーを 志望したのか？～その2～</h3> <ul style="list-style-type: none"> <li>● サフレンジャーを通して、地元の自然への興味を深めたい。</li> <li>● 花が好きな人にサロベツ原野の花をおしえてあげたい。</li> <li>● 自分自身を成長させたい。</li> <li>● 自分の住んでいる豊富町について理解を深めたかった。</li> <li>● 豊富町を盛り上げたい！</li> </ul> 	<h3>高校生サフレンジャー 今年の活動</h3> <p>私達がやる基本的な仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ガイド</li> <li>● 自然情報更新</li> <li>● 館内の清掃</li> <li>● パンフレットの補充</li> <li>● 展示物作成</li> </ul> 
--	---

<h3>七タイイベント</h3> 	<h3>羽ペン作り</h3> 
--	---

**实物大のオオワシ展示作り**

**サフレンジャー活動を通して知ったこと**

2年 大藤千春

**湿原・泥炭のこと**

1年に1mmずつ  
約6,000年かけて  
サロベツの湿原は  
できあがってきた

**タチギボウシ**

**サワギキョウ**

**ナリウツギ**



### 3. 人のコミュニケーション能力が向上した



### 活動を通してのまとめ



観光客の方にガイドをする様子



サブレンジャーとサロベツの自然

最後に、私たちサブレンジャーが行って来た活動を写真を交えながら振り返ります。そして、その活動を通して得た事、現状・課題、これからの希望を最後のまとめとして、お話しします。

3年 石川貴太

### 活動を通して学んだこと



レンジャーや環境省の活動について学ぶ様子



満開に咲くタチギボウシ

常に施設の管理、改善や外来種駆除といった、地域の自然を守る活動を行っている。また、イベントも企画し、町おこしにつながる活動も行っていることが分かった。

サロベツ湿原において見所の花はエゾカシソウだけではない！と思われる花である。主に紫のお花が綺麗に咲いていた。

### 現状と課題

**現状** 湿原が抱える問題（湿原の乾燥による、ササの侵入など）やサロベツの魅力をまだ知らない方が地元の方も含め、多いこと。

**課題** サブレンジャーは更に、サロベツの情報や魅力を発信できるよう、高い意欲を持ち、活動を行うことが大切。そして、地元の方にもサロベツについて知ってもらえるよう活動の工夫も必要だと感じた。



サロベツ湿原が抱える問題（ササの侵入）に関する展示物の設置の様子

### これからの希望

サロベツの現状や魅力を知っている私たちがどんどん魅力を発信していきたい。



地元の方をはじめ、地元について知ってもらう。そして、町全体が盛り上がり、もっと多くの方に訪れていただきたい！



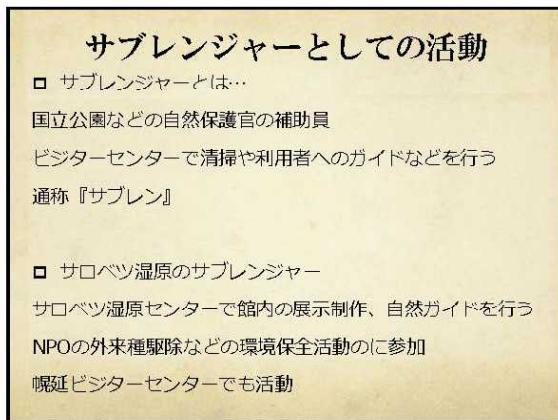
サブレン便り（木道の見所紹介など）を記入する様子。

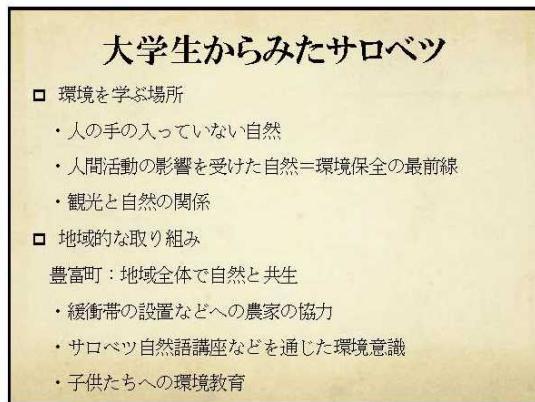
### 最後に…



サブレンジャーはこれからも、多くの方にサロベツの魅力をお伝えできるよう、活動して参ります！今後も、サブレンジャーの活躍にご期待下さい！！

## エコモー交流会発表資料 (北海道大学生)







## 今後取り組みたいこと

- 今までの活動は続ける（ガイド、外来種）
- ガイドの方法の改善：フリップ、ワークショップ
- 展示物制作：一通り完成、手だての模索。英語版パンフレット

## エコモ一交流会発表資料 （環境省）

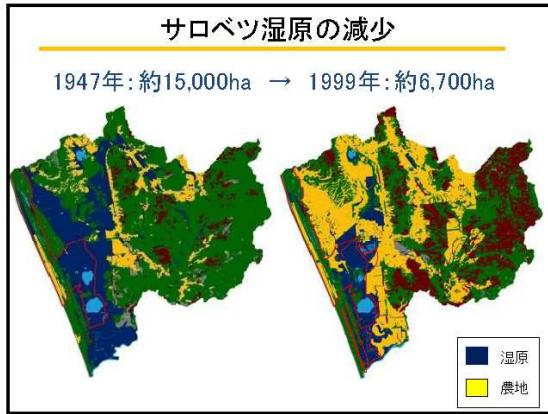


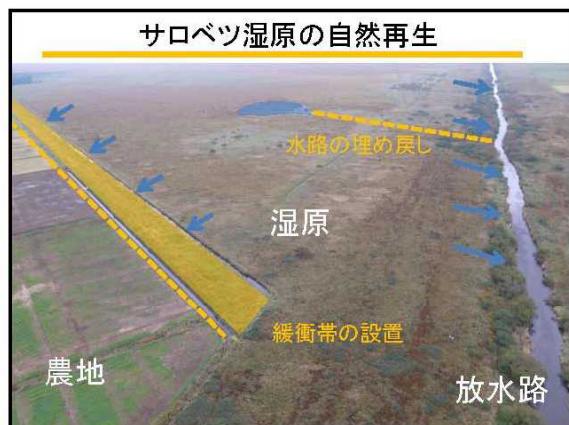


昭和30年代



昭和50年代







## 9.4 エコモー☆サポーター会議資料

### 第12回 エコモー☆サポーター会議

日 時：平成25年10月2日  
時 間：18:00～19:30  
場 所：豊富町役場2階会議室

#### 開 会

##### 1. 【報告】

- 第11回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり (資料1)

##### 2. 【議題】

- 年間スケジュール及び、エコモープロジェクトの登録状況について (資料2)
- サロベツ・エコモーDayについて (資料3)
- サロベツ・エコモー・メンバー交流会について (資料4)

##### 3. 活動報告と告知

##### 4. その他

#### 閉 会

## 第11回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり

### 開催概要

日 時：平成25年9月5日（木）18:00～19:30

場 所：豊富町役場 2階会議室

出席者：臼井立身、田中美佐保、谷垣重遠、西島今朝悟、吉原努（NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク）、野地正昭（稚内開発建設部）、坂井渉（豊富森林事務所）、中島信人・山上佳祐（稚内自然保護官事務所）、大須賀浩（豊富町）

### 議事概要

#### 1. 第11回エコモー☆サポーター会議ふりかえり（資料1）

事務局から資料を基に前回会議の内容について説明

#### 2. エコモー☆サポーターの年間スケジュールについて（資料2）

事務局から資料を基にH25年度方針と今後の予定について説明

##### ・エコモー交流会について

⇒日程、内容などを決め、次回会議までに事務局案を提出することを確認。

⇒また、サロベツ・エコモー・プロジェクトの登録数が少ないため、活動登録の呼びかけを昨年のサロベツ・エコモー・プロジェクトの実施者やサロベツ・エコモー・プロジェクトに登録されていない地域活動の実施者へ行う。

#### 3. ホッキ祭りでの自然再生PRについて（資料3）

事務局から資料を基に自然再生PR活動の成果や課題について説明

##### ・パーテーションの枚数について

⇒豊富町と林野庁のパネルの中で、パーテーションに貼ることができなかったパネルがあった。パーテーションの枚数を増やすかレイアウトを工夫することを確認。

##### ・出前エコモー・プロジェクトについて

⇒自然再生PR活動として出前エコモー・プロジェクトを実施した結果、たくさんの来場者に来ていただいたことは大きな成果となった。

⇒例えば、イベントのご案内としてチラシを配布するなどエコモー登録イベントへの参加を促す案内が十分ではなかったため、実際に参加していただけるような呼びかけも合わせて行うことを確認。

##### ・クイズラリーについて

⇒来場者に好評だったが、クイズ内容が難しい専門用語だったというご意見があった。覚え

てもらいたいキーワードを簡潔にまとめ、分かりやすい答えになるよう問題を作成していくことを確認。

・専用駐車場に関係者以外の車が数台駐車していたことについて

⇒「私有地につき駐車禁止」という案内看板を作るなど工夫が必要という意見があった。関係者以外の車両が利用することのないよう徹底して取り組むことを確認。

#### 4. サロベツ・エコモーDAYでの常設展示について（資料4）

事務局から資料を基にサロベツ・エコモーDAYの概要と常設展示活動について説明

⇒次回の会議で細かい日程や役割分担などを決めるなどを確認

⇒常設展示の内容については、ホッキ祭りの展示内容をベースに、レイアウトを工夫して行うことを確認。

⇒10月以降の地域活動リストを貼り出し、PRしてはどうかという意見だったので、ご案内できるチラシがあれば、配布できるよう準備を進めることを確認。

#### 5. 今年のサロベツ・エコモー・プロジェクトの実施状況について（資料5）

事務局から資料を基に今年のサロベツ・エコモー・プロジェクトの登録状況について説明

⇒今年のサロベツ・エコモー交流会に向けて活動実施者への呼びかけなど準備を進めることを確認。

#### 6. 活動報告と告知

事務局から地域活動の実施状況と今後の予定について資料説明

⇒事務局から7月6日（土）のサロベツHANAマラソンの主催者がスタッフを募集していたため、エコモー☆サポーターに協力の呼びかけを行い、数名が参加したことを報告。

⇒稚内自然保護官事務所の山上アクティブレンジャーから、7月19日にパンケ沼園地で木道ナイトハイク、8月11日に湿原センターで第2回 サロベツ自然観察会を行ったことについて報告。

⇒稚内自然保護官事務所の山上アクティブレンジャーから、9月下旬に幌延町下沼にある牧草地帯で利尻礼文サロベツパークボランティアの会とともに秋の渡り鳥観察会を行う予定について周知。

#### 7. その他

⇒次回の会議は10月2日（水）に行うこと確認。

# エコモー☆サポーター 年間スケジュール

資料2-1

## ①エコモー・プロジェクトの輪を広げる

- ◆地域活動リストの更新を行ないながら活動を行い、地域の行事に参加してつながりをつくる。
- ◆サロベツ・エコモー・プロジェクトに参加しやすくなるよう工夫して活動する。

## ②活動ごとの効果を高める

- ◆普及活動計画により意識した活動を行う。
- ◆自然再生PR活動の来訪者数にアンケートに答えていただけの工夫をし、活動の効果を高める。

## ③エコモー☆メンバーコミュニティの交流がより深まるよう工夫する

- ◆エコモー☆メンバー交流会を開催し、メンバー同士が体感を持つるようにする
- ◆エコモー☆メンバー交流会以外でも、活動を紹介できる場をつくる
- ◆エコモー☆メンバー交流会では楽しいアイデアが広がるよう企業を検討する
- ◆事務手続きについても改善すべき点があるか検討し、必要な改善を行う

H25年度  
方針

	H24年度			H25年度		
	3月	4月	5月	6月	7月	8月
会議				月1回程度開催		
サロベツ・ エコモー・ プロジェクト				随時活動募集・受付		
エコモー☆サ ポーター活 動						
自然再生PR						
他団体との 連携強化					随時地域活動のリスト更新・参加	
研修					環境学習ツアーや自然語講座などに参加	

**地域活動リスト(平成25年 10月 2日更新) 「農業の保全」「温原の保全」「地域づくり」に関わりのある地域活動**

開催日	開催場所 開催時間	行事名	主催者	連絡先	概要		サロベツ・エコモー・プロジェクト 登録状況	
					2008	2009	2010	2011
4月21日(日)	稚内海岸 9:30~	稚内海岸岸砂丘溝掃 サロベツ原生花園溝掃	利尻礼文サロベツ 国立公園バーカボ ランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	豊富町民や豊富町の各関係機関、団体が一丸となって地域の景観を維持するため堆積砂丘にあるゴミの大清掃を行う行事。			
4月29日(月)	サロベツ温原セ ンター	サロベツの春を探そう！ 銀繁会	オハツワ—俱乐部	サロベツ温原センター TEL: 0162-82-3232	早春のサロベツ原野で動植物を探し、春の息吹を参加者全員で感じ る銀繁会。	○	○	○
5月~3月 月1~2回程度	サロベツ温原 センターほか	なまら!! サロベツクラブ	NPO法人サロベ ツ・エコ・ネットワ ーク	サロベツ温原センター TEL: 0162-82-3232	豊富町の小中学生を対象に、カヤックでのベンチ湯の深浅や野鳥観察などを通してサロベツ地域の良さを探すこと。	○		
5月1日(金)	自然公園ほか 9:00~	春のクリーン作戦	豊富町 町民課	豊富町役場 TEL: 0162-82-1001	ボランティアで参加している市街地住民・老人社や 豊富町の各関係機関や団体が地域の景観維持のため主要道路や電線 路線の大清掃を行う。(広報とよみより引用)			
5月4日(土)	温原 センター前 11:00~	コミのボイ捨て 禁止啓発活動	豊徳地区自会・ 婦人部・老人会ほか	豊富町役場 TEL: 0162-82-1001	サロベツ温原センター来場者にコミのボイ捨て禁止の チラシと豊富牛乳を配布する行事。	○		
5月19日(日)						○	○	○
6月16日(日) 7月21日(日) 8月18日(日) 9月22日(日) 10月20日(日) 11月19日(日) 12月16日(日)	サロベツ 温原センターほか (日)	サロベツ 自然語講座	NPO法人サロベ ツ・エコ・ネットワ ーク	サロベツ温原センター TEL: 0162-82-3232	多くの方にサロベツ原野の自然や歴史を机上の講義とフィールドでの 体験を通して学ぶことによって、より身近なものとして感じてもらいたい、 それを他の人に伝えることでできる人材にならえるよう企画した行事			
5月20日(月)	豊徳地区	桜の苗の植樹	豊徳地区協議会	豊富町役場 TEL: 0162-82-1001	昨年に植樹した桜の冬困りを外す作業等を行ないます。			
5月26日(日)	豊富町開運橋 9:00~	一斉外来種除去 豊富地区	利尻礼文サロベツ 国立公園バーカボ ランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	5月22日「国際生物多様性の日」にちなみ、利尻礼文サロベツ国 立公園内の生物多様性の保全を目的として外来種の除去を行う行 事。	○	○	○
6月9日(土)	サロベツ温原 センター10:00 ~	サロベツ自然観察会	利尻礼文サロベツ 国立公園バーカボ ランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	サロベツの自然に親しみきっかけ作りとしてサロベツ温原センター の木道遊びで散策を行いながら、自然観察や、講師の解説を聞く行 事。	○		
6月29日(土)	エベコロベツII	サロベツ探検隊 水質調査	豊富町教育委員会	豊富町教育委員会 TEL: 0162-82-1355	天北塾 村元氏を講師とし、下エベコロベツIIの水質調査を行う。			
7月3日(水)	サロベツ温原セ ンター	地域連携プロジェクト協 定に基づく見学会	稚内開発建設部	稚内開発建設部 TEL: 0162-33-1186	豊富中学校の生徒を対象に地域の農業と自然環境に関する知識と理解 の向上を目的とした講座と現地見学会を行う行事。			
7月6日(土)	帰郷駅ほか 7:30~	HRC帆延ランニン マラソン	HRC帆延ランニン マラソン	法昌寺 稲垣惣領 TEL: 01632-5-2556	帰郷駅から駒延ビシャーセンター及びサロベツ温原センターを経由 して豊富温泉までの約50キロの道程をサロベツに咲くエゾソシヅ ウや野鳥の鳴りを耳にしふら走る行。	○	○	○

7月7日(日) 8月 未定 9月	サロベツ川流域	渥原を流れるサロベツ川 を知る	サロベツの今を見 直す100の声の会	谷垣 重遠 TEL: 0162-23-5157	サロベツ川の源流部から下流域まで調査し、郷土の川であるサロベツ川を酪農家の視点で考える。	○
7月19日(金) ~ 8月 1日(木)	幌延町国際交流施設	ふるさと動植物写真展	幌延町教育委員会	幌延町教育委員会 TEL: 01632-5-1117	動物写真家 富士元寿彦氏による動植物写真展。国立公園であるサロベツ原野でくましく生きる動物たちの生態を紹介する。	
7月 20日(土)	稚咲内海岸	グリーンワーカー <sup>稚咲内海岸清掃</sup>	豊富町商工観光課	豊富町役場 商工観光課 TEL: 0162-82-1001	漂着ゴミや、不法投棄されたゴミを地域ぐるみで拾い集める行事 (広報とよどみより引用)	
7月 25日(木)	自然公園	ホタル観察会	NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク	サロベツ温泉センター TEL: 0162-82-3232	身近な場所にホタルが生息しているということを知つていただき、夏の夜を楽しむ行事。	

開催日	開催場所	開催時間	行事名	主催者	連絡先	サロベツ・エコモード・プロジェクト 登録状況				
						概要	2008	2009	2010	2011
7月 28日(日)	自然公園	第4回ホッキまつり	豊富町観光協会	豊富町役場 商工観光課 TEL: 0162-82-1001	地元の椎嶽内(わかさかない)魚組の「活ホッキ貝」の販売から、ホッキ貝を使った料理を提供するお店が並ぶ食の祭典。 (広報とよどみより引用)					
7月 31日(水)	幌延町国際交流施設	ふるさと動植物DVD上映会	幌延町教育委員会	幌延町教育委員会 TEL: 01632-5-1117	動物写真家 富士元寿彦氏によるDVD上映会。国立公園であるサロベツ原野でくましく生きる動物たちの生態を紹介する					
7月 19日(金)	パンヶ沼 木道	木道ナイトハイク	利尻礼文サロベツ 国立公園ハーフボランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	稚内自然保護官事務所 サロベツの自然に親しみきっかけ作りとしてサロベツ温泉センターの木道沿いで散歩を行ながら、自然觀察や、講師の解説を聞く行事。 などについてレクチャー後、夜の温泉を歩き自然觀察を行いう行事。	○	○	○	○	○
8月 11日(日)	サロベツ温泉センター	サロベツ自然觀察会	利尻礼文サロベツ 国立公園ハーフボランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	サロベツの自然に親しみきっかけ作りとしてサロベツ温泉センターの木道沿いで散歩を行ながら、自然觀察や、講師の解説を聞く行事。	○	○	○	○	○
9月 7日(土) ~ 9月 8日(日)	豊富町	北海道牛野のふるさと を訪ねるツアーパート	宗谷総合振興局 セイコーマート	北海道日本ツーリスト 北海道 札幌法人旅行支店 TEL: 011-251-0011	北海道牛野のふるさとを訪ねるツアーパート 1泊2日で牛の乳搾りや牛乳工場見学を行い、他の尊さや食べ物の大切さを知つてもらう。参加者が酪農への理解を深めてもらひ酪農振興に図る行事。					
9月下旬	下沼の牧草地帯	秋の渡り観察会	利尻礼文サロベツ 国立公園ハーフボランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	稚内自然保護官事務所 サロベツの自然に親しみきっかけ作りとしてスタッフの案内でベンケ涓沼、パンケ沼周辺の牧草地帯を車で移動し、オオヒシクリイを始め、遠く海を遙つてきに渡り鳥を観察する行事。	○	○	○	○	○
9月下旬	自然公園ほか 9:00~10:00	秋のクリーン作戦	豊富町 町民課	豊富町役場 町民課 TEL: 0162-82-1001	豊富町の各関係機関や団体が地域の景観維持のため主要道路や観光路線の大清掃を行う行事。					
9月 28日(土)	落合地区	サロベツ環境学習 ツアーパー1回目	稚内自然保護官事務所	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	自然再生事業を広く一般の方々に知つていただくため、普段は入ることのできない調查用の木道を通り、各開進場所で自然再生事業の取り組み内容やその成果などを紹介する行事					○
9月 28日(土)	下工ベコロベツ川	サロベツ探検隊 魚類調査	豊富町教育委員会	豊富町教育委員会 TEL: 0162-82-1355	天北塾 村元氏を講師とし、下工ベコロベツ川に生息している魚類の調査を行う。					

10月末定	稚嵌内 再生地盤内 9:30～11:30	ミズナラ苗木の 植樹活動イベント	稚嵌内丘林再生 検討委員会	サロベツ湿原センター TEL : 0162-82-3232	稚嵌内の再生地盤内に、地域住民や豊富町の各関係機関、団体が一丸 となり植樹作業を行う。(旧稚嵌内小学校グラウンド集合)		○	○	○
10月14日(月)	サロベツ湿原 センター 9:00～16:00	サロベツ・エコモーダY	稚内自然保護官事 務所	稚内自然保護官事務所 TEL : 0162-33-1100	地域の方々に、湿原と農業の共生を目指したサロベツ自然再生事業を より身近に感じていただきため、豊富牛乳を使つたメニュー、コンテスト や町のおいちゃんからサロベツの歴史を聞くなど、サロベツの湿 原と農業の共生を楽しむながら見るイベントを行う。		○		
10月19日(土)	泥炭採掘地	サロベツ環境学習 ツアー 2回目	稚内自然保護官事 務所	稚内自然保護官事務所 TEL : 0162-33-1100	自然再生事業を広く一般の方々に知つていただくため、普段は入るこ とのできない調査用の不道を通り、各開催場所で自然再生事業の取 組み内容やその成果などを紹介する行事		○		
10月20日(日)	豊穂	秋の外来種除去	利尻礼文サロベツ国立公園ハーフボ ランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL : 0162-33-1100	利尻礼文サロベツ国立公園内の生物多様性の保全を目的として外来種 の除去を行う行事。		○		
10月下旬	市民センター 9:00～	第41回町民文化祭	豊富町教育委員会	豊富町教育委員会 TEL:0162-82-1355	市民による書道や絵画展示やビアノ演奏・寿舞踊会などが行われる。				
2月中旬	サロベツ湿原 センター	スノーシュー競走会	利尻礼文サロベツ国立公園ハーフボ ランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL : 0162-33-1100	世界湿地の日(ラムサール条約採択日)にちなみ、スノーシューを用い てサロベツ原野の自然観察を行う行事。	○			
2月上旬	幌延町下沼	世界湿地の日 記念イベント	サロベツ・ネイチャ ーゲームの会	稚内自然保護官事務所 TEL : 0162-33-1100	世界湿地の日(ラムサール条約採択日)にちなみ、サロベツ原野にちな んだネイチャーゲームや自然観察、講義等を行う行事。				
未定	未定	サロベツ今昔物語	ノフの会	谷垣 重遠 TEL : 0162-23-5157	サロベツ原野の開拓の歴史と実状の把握、文書化して記録を残す。	○			

## サロベツ・エコモーブプロジェクト2012 活動リスト

番号	取り組み名	実施者	行う時期・回数	取り組みの内容
1	サロベツHANAマラソン2012	HRC 帆延ランニングクラブ 福恒 純真	平成24年7月8日（日）	「サロベツ原野を駆けと走ろう」をテーマとして、日頃個々に走っている10名が集い、法昌寺から幌延ビジターセンター及びサロベツ温泉センターを経由して豊原温泉までの42キロを走りました。ランナーはそれぞれサロベツや野鳥の写真を目にしづら、楽しく走ることができました。
2	サロベツ温泉保全ボランティア活動ヒューオーキング、2012年夏	サロベツ学会 (エコ・ネットワークとの共催)	平成24年8月4日、5日	「サロベツ温泉の保全と大人と子供のための環境教育」2012年夏」の活動として、イントネシアから北大に留学している学生やその家族、札幌近郊のボランティアグループ、総勢25名の参加がありました。温泉保全ボランティアでは、2人一组で地下水位の測定を行いました。
3	上サロベツの自然と農業を学ぶハナカル展	稚内開発建設部 農業開発課	平成24年4月～平成25年3月： サロベツ温泉センター 平成24年7月29日： 豊富ホッキまつり 平成24年10月20日： エコモードDay	農業と自然の共生を目指す上サロベツ地域の取組や農業の振興に関する地域情報を紹介するパネル展を開催しました。 サロベツ温泉センターでは、上サロベツ農業情報マップをパネルに見てもらいました。
4	上サロベツ農業情報マップ	稚内開発建設部 農業開発課	平成24年4月～平成25年3月	上サロベツ地域の農業情報を紹介する「上サロベツ情報マップ」をサロベツ温泉センター、役場、市民センター等の公共施設やマップ掲載団体に置き、町民や来町者等に情報提供を行っています。また、ホッキまつりやサロベツ・エコモードDayなどでも配付しました。その結果、昨年度を大きく超える1,700枚を配付できました。
5	顔出しハズレ!作成	JA北宗谷青年部	平成24年4月～平成25年3月	豊富支部部員（総数54名）により、顔出しハズレを作成ビジターセンター内に設置来場客の記念と、基幹産業である酪農のPRと牛乳の消費拡大を啓発する
6	サロベツ自然語講座	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	7月1日、8月12日、9月2日、10月7日、11月5日	平成19年度より継続実施している自然語講座を本年度も実施しました。この講座は、多くの方にサロベツ原野の自然や歴史を机上での講義とフィールドでの体験を通して学ぶにによって、より身近なものとして感じてもらい、それを他の人に伝えることのできる人材になつてもらおうとする企画したもののです。
7	外来種からサロベツを守ろう！	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク・利尻礼文サロベツ国立公園バーボランティアの会豊富部会	通年・利尻礼文サロベツ国立公園内の各所	原生の自然が残るサロベツ原野においても、多くの外来種が侵入しています。これまでにもこの活動では、サロベツから少しでも外來種を減らすことを目標に、国立公園の各所でオガハハンソウ（植物）の除草活動を行ってきました。今年度も同様に、春・秋の2回の除去イベントを行いました。また、温泉センターでセイヨウオオハナマルゴチの巣を発見し駆除しました。
8	サロベツ川＆ベンケ沼清掃	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	6月～10月にかけて全6回	サロベツ温泉やその周辺のベンケ沼を含む大小さまざまな湖沼は、渡り鳥の中繼地となっています。平成17年にはラムサール条約湿地として登録されています。しかし、路地初期の排水路整備によりベンケ沼に大量の土砂と共に生活雑草物等も流れてくるようになりました。そのため、カヤックを活用し、ベンケ沼と周辺河川の清掃活動を行いました。全6回で40㍑ゴミ袋77袋、計240kgものゴミを回収することができました。
9	押忍！我ら豊富町『カレー部』！	みさたろじゆかいな仲間たち＆サロベツクッキングクラブ	11月11日（日）	今年は温泉のイメージにこだわってみました。外側は低温温泉をイメージしたグリーンカレーご飯部分はエゾカンゾウ咲く中間温原のサフランライス、真ん中は泥炭の高溫温泉をイメージしたキーマカレーにして、サロベツ花カレーと名付きました。
10	ホニーの幌馬車・馬橇	東條信雄・恵太	2月17日～19日、7月1日、7月29日	夏は幌馬車、冬は馬リの体験乗車を行い、好評だった。 ・豊富温泉雪あかり 50人 ・サロベツ温泉センター 0人 ・ホッキ祭り 200人

11	稚咲内砂丘林再生プロジェクト	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク、稚咲内町内会、豊富町、宗谷総合振興局、環境省稚内自然保護官事務所	通年・利尻礼文サロベツ国立公園内の稚咲内砂丘林（町有林）において、無立木地化した約3haの森林再生に向けて、現砂丘林帯と同様生のミズナラ・イタヤカエデの苗木を育て、種樹するプロジェクトです。今年は着手から8年目を迎え、新たに1608本種樹し、計2643本となりました。68区画ある区画に、8年目でようやく全区画で種樹が終わりました。
12	サロベツサブレンジャー	北海道大学植物同好会	平成24年 7月下旬から8月下旬
13	秋の遠り鳥観察会	日本野鳥の会 遠北支部 利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会（幌延部会） 稚内自然保護官事務所	平成24年 9月23日（日）
14	木道ナイトハイク	利尻礼文サロベツ国立公園パークボランティアの会、 稚内自然保護官事務所	平成24年 7月21日（土）
15	サロベツ環境学習ツアー	主催：稚内自然保護官事務所 協力：NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	平成24年 9月30日（日）落合沼 10月20日（土）泥炭探掘跡地・山本農場 11月4日（日）原生花園園地跡地
16	サロベツ・エコモーダイ	主催：稚内自然保護官事務所 協力：エコモーサボーター、豊富町、 サロベツストリーヴス、 NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク他	平成24年 10月20日（土）
17	ごみのポイ捨て防止啓発活動	主催：農地・水保全管理支払交付金 豊岡地区協議会・協力：稚内自然保護官事務所	平成24年 5月13日

## サロベツ・エコモーDayについて

### 1 開催の目的

サロベツでは、平成17年に設立した上サロベツ自然再生協議会により「湿原の自然再生」「農業の振興」「地域づくり」を目標とした自然再生事業が行われている。これら自然再生の取り組みを持続的なものにするためには、地域全体での協力した取り組みや、サロベツならではの特徴ある地域づくりを進めていくことが必要である。

サロベツ・エコモーDayでは、イベントの実施を通してサロベツの湿原の保全や農業に関わる方々が交流を深め、また、地域内外の方に広く自然再生の取り組みを知ってもらうことを目的とする。

### 2 実施日時

10月14日（月）10:00～16:00

### 3 実施内容

サロベツ・エコモーDay当日は、以下9種類の企画を行う。

#### ① サロベツを食べよう

⇒サロベツレストハウスにおいて、当日会場に訪れた方に豊富牛乳や豊富町ならではの食材を使用した料理を提供していただく。

#### ② 秋の木道散策会

⇒秋のサロベツ湿原を楽しむため、各回講師が入れ替わりながら木道のガイドウォークを実施する。

#### ③ エコモー交流会

⇒サロベツの自然や歴史、サロベツをフィールドに行われている活動等について語り合い、参加者の交流を深められる交流会を実施する。昨年はPVの村元さん、農家のハ重沢さんからサロベツの歴史を語っていただいた。今年は今夏活躍したサブレンジャーの活動報告を予定している。

#### ④ 浚渫船の開放

⇒普段は乗ることができない湿原センターの浚渫船を当日限定で開放し、サロベツの泥炭採掘の歴史の一端に触れてもらう。

#### ⑤ トラクター試乗

⇒JAの協力を得て牧草の刈り取りなどで使用するトラクターを展示し、運転席に乗ることもできるようにする。

#### ⑥ 牧草ロール展示

⇒農家の協力を得て湿原センター前の芝生広場に牧草ロールを展示し、地域の酪農に対する関心を高めてもらう。

#### ⑦ ポニーの幌馬車

⇒エコモープロジェクトの1つとして実施されているポニーの幌馬車を当日限定で、湿原センターの敷地内で行う。かつてはサロベツでも利用されていた幌馬車に乗車することで、サロベツの歴史を感じもらう機会にする。

#### ⑧ 自然再生パネル展

⇒エコモー☆サポーターによる、サロベツ・エコモー・プロジェクトのPRや、サロベツで行われている自然再生の取り組みを紹介する展示コーナーを設置する。

#### ⑨ クイズラリー

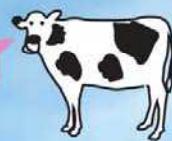
⇒サロベツ・エコモーDayの各企画にちなんだクイズラリーを実施し、参加者に自然再生の取り組みを知ってもらう。

## 〈サロベツ・エコモーDayとは〉

サロベツ湿原は日本でも最も広い高層湿原を有し、ラムサール条約にも登録されています。その湿原を保全するためにサロベツでは、湿原と農業の共生を目指す自然再生事業が行われています。

サロベツ・エコモーDayは、湿原と農業の共生をより身近に感じていただくためのイベントです。※「エコモー」とは、エコロジーの「エコ」と牛の鳴き声の「モー」からなる造語です。

まつ  
るよ



サロベツの自然と農業を満喫する1日

# サロベツ・エコモーDay

**10/14(祝)**

**10:00-16:00**

開催会場・アクセス

サロベツ湿原センター  
レストハウスサロベツ

どなたでもご参加いただけます。  
ご家族、ご友人とお越し下さい!

### 秋の木道観察会



サロベツガイドと秋の湿原を  
楽しもう! 7時間毎に出発!

~ご案内時間~  
1回目 10:30~  
2回目 11:30~  
3回目 12:30~  
4回目 15:00~



ポニーの馬車も  
来るよ



各コーナーを回るクイズラリー  
で豊富牛乳をGET!



キッズ  
コーナーもあるよ

トラクターに乗れるよ!

自然再生パネル展



サロベツの自然再生  
について知ろう!

エコモー交流会



~開催時間~  
13:00~15:00

サブレンジャーの活動発表など、  
みんなでサロベツの話を聞こう! しよう!

主催: 環境省離内自然保護官事務所 協力: 上サロベツ自然再生協議会 再生普及部会、エコモー☆サポートー、豊富観光開発協同組合、豊富高等学校

お問い合わせ先: サロベツ湿原センター TEL: 0162-82-3232 mail: center@sarobetsu.or.jp

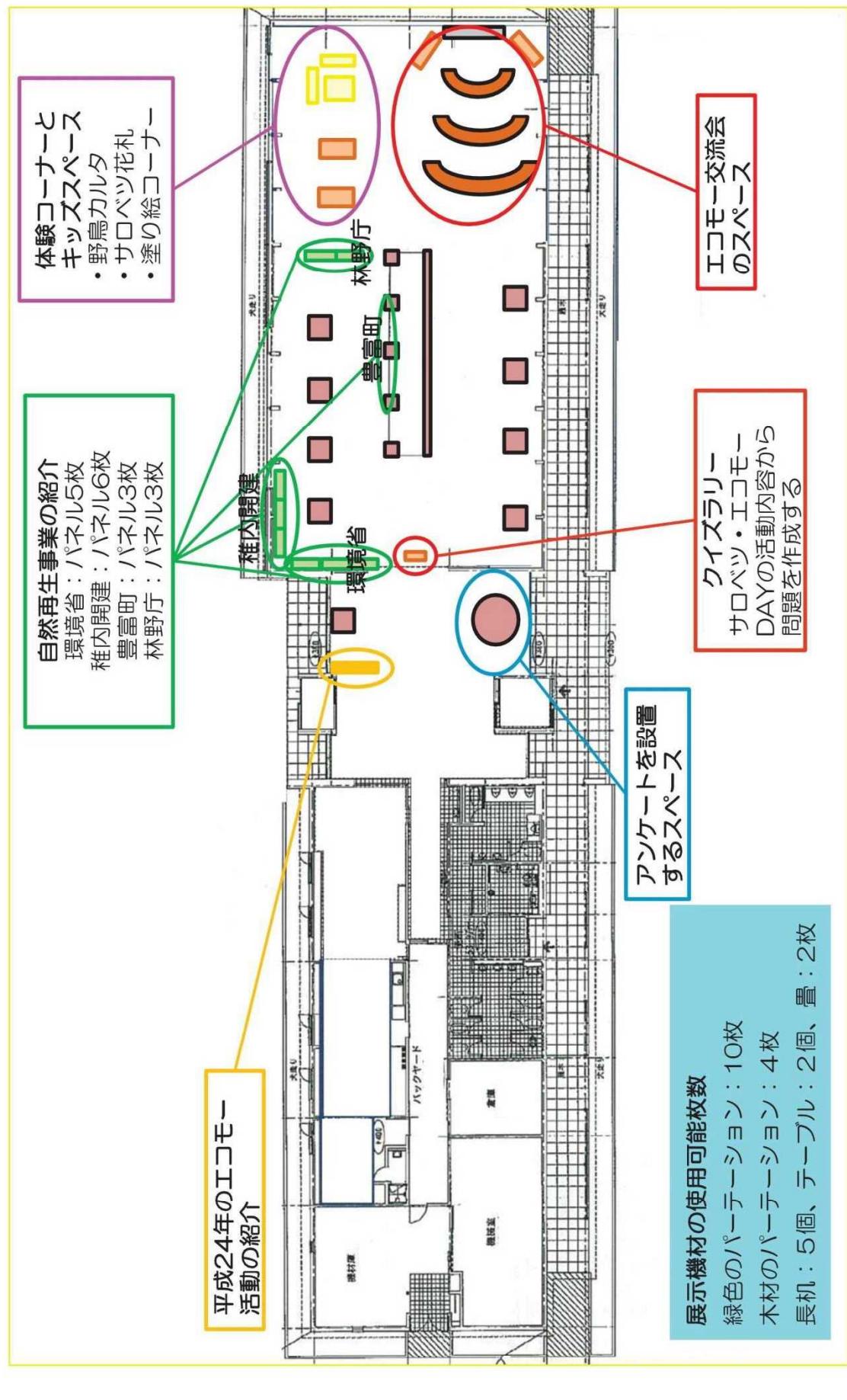
サロベツ・エコモー・Day タイムスケジュールヒューリックスタッフ配置  
全体 10:00～16:00（準備は9時から、E☆Sの片付けはなし）

項目	協力者	担当スタッフ	当日スタッフ	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
①サロベツを食べよう	豊富町観光開発	サロエコ(鳴崎、田中)	サロエコ(田中) 環境省(中野)								
②秋の木道観察会	PV(足田さん、遠島さん、 村元さん)	サロエコ(山元)	サロエコ(山元)		1回目 10:30～	2回目 11:30～	3回目 12:30～			4回目 15:00～	
③エコモー交流会	豊富高校	サロエコ(鳴崎) 環境省(中島)	サロエコ(鳴崎、山元) 環境省(中島)								
④漁業船に乗ろう	—	サロエコ(吉原)	サロエコ(吉原)								
⑤トラクター試乗	JAB宗谷	環境省(中島) 豊富町(大須賀)	サロエコ(吉原) 環境省(永野) 豊富町(二浦、大須賀)								
⑥牧草ロール展示	JAB宗谷青年部 (小松さん)	環境省(中島)	環境省(中島)								
⑦ポニーの幌馬車	東條さん E☆S	サロエコ(鳴崎)	東條さん E☆S 1人( )								
⑧自然再生パネル展 チラシ配布	E☆S	サロエコ(吉原) 環境省(山上)	環境省(山上) E☆S 4人( )								
⑨クイズラー	E☆S	サロエコ(吉原) 環境省(山上)	サロエコ(吉原) 環境省(山上)								

## サロベツ・エコモーDay 「自然再生を知ろう」常設展示会場間取り図案

目的：豊富町内外の方々に対し、自然再生に向けた取り組み、エコモー・プロジェクトの活動等を紹介し、サロベツ自然再生への関心を高める。

資料3-4



## サロベツ・エコモー・メンバー交流会について

1. 日時 平成25年11月23日（土） 10:00～15:00
2. 場所 サロベツ湿原センター
3. 目的 ① エコモー・メンバーの交流を深める  
② エコモー・メンバーが互いの活動を報告し、活動のふりかえりを行なう  
③ 交流会を通して、より多くの方々にサロベツの魅力を伝える

### 4. 実施内容

- ① エコモー活動報告会 （時間：10:00～12:00）

今年度、エコモープロジェクトにエントリーされた方々の取り組みについて、活動報告を行なう。

- ② エコモー交流会 （時間：13:00～15:00）

他地域で活動している方に事例発表をしていただき、参加者全員でサロベツの魅力について改めて話し合い、次年度の活動に繋げられるきっかけ作りを行なう。

### 5. 当日までのスケジュール（事務局の動き）

作業項目	10月	11月			当日
		上旬	中旬		
■活動登録の呼びかけ		11月2日まで			
■事例発表者との日程調整				→	
■チラシ・プレス・ML原稿作成	10月23日				
■活動実施者宛発表依頼文発送	10月23日				
■交流会のお知らせ発送・ML発信		10月23日～11月9日			
■チラシの町内回覧、貼り出し		10月23日～11月9日			
■出欠確認		11月9日まで			
■発表資料のとりまとめ ふりかえり資料のとりまとめ			11月9日まで		
■当日のプログラム作成 役割分担の連絡		11月9日まで			

## 第13回 エコモー☆サポーター会議

日 時：平成25年10月31日  
時 間：18:00～19:30  
場 所：豊富町役場 2階会議室

### 開 会

#### 1. 【報告】

- 第12回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり (資料1)

#### 2. 【議題】

- 年間スケジュール及び、エコモープロジェクトの登録状況について (資料2)
- サロベツ・エコモーDAYのふりかえり (資料3)
- サロベツ・エコモー・メンバー交流会について (資料4)

#### 3. 活動報告と告知

#### 4. その他

### 閉 会

## 第12回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり

### 開催概要

日 時：平成25年10月2日（水）18:00～19:30

場 所：豊富町役場 2階会議室

出席者：田中美佐保、谷垣重遠、西島今朝悟、嶋崎暁啓・吉原努(NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク)、野地正昭(稚内開発建設部)、坂井渉(豊富森林事務所)  
中島信人・山上佳祐・永野雄大・中野雄介(稚内自然保護官事務所)、  
佐藤公一(宗谷総合振興局)、大須賀浩(豊富町)

### 議事概要

#### 1. 第11回エコモー☆サポーター会議ふりかえり（資料1）

事務局から資料を基に前回会議の内容について説明

#### 2. 年間スケジュール及び、エコモー・プロジェクト登録状況について（資料2）

事務局から資料を基に今後の予定とエコモー・プロジェクト登録状況について説明

##### ・エコモー・プロジェクト登録について

⇒E☆Sなど関係者には改めて登録シートを送る。また昨年の登録者には登録シートの他に、昨年のデータも一緒に送り、登録を呼びかける。

⇒毎年行なっている活動を新規登録するか否かは別途協議する。

#### 3. サロベツ・エコモーDayについて（資料3）

事務局から資料を基にサロベツ・エコモーDay の全体の概要やエコモー☆サポーターの役割、当日の流れ等について説明

##### ・当日のシフトについて

⇒各スタッフが各企画に参加できるよう、配置時間を調整する。

##### ・クイズラリーについて

⇒ホッキ祭りではクイズの内容が難しかったため、できるだけ簡潔にすることを確認。  
また、クイズラリーの裏面にアンケートを付けることを確認。

##### ・自然再生パネル展について

- パネルの設置は当日朝に設置する。
- 参加者とスタッフを区別するため当日はネームプレートを用意する。

- 豊富牛乳公社の協力が分かるよう、牛乳提供の他にパネルやパンフレット、空の牛乳パックを提供していただけるかどうか打診する。

⇒以上確認。

#### 4. サロベツ・エコモー・メンバー交流会について（資料4）

事務局から資料を基に交流会の概要について説明

⇒今年度案は、エコモー・プロジェクト報告会の他に、交流会として他地域で活動していた方の事例発表を行なうことを確認。事例発表は釧路湿原で自然再生事業に携わっていた竹中自然保護官（元釧路自然保護官事務所）を招き講演していただく予定であることを確認。

⇒サロベツ・エコモー・プロジェクトの将来を見据え、地域の方々とよりつながり深めるために、活動の総括、今後の方針を話し合う場を設けたらどうかという意見があった。

今後の方針の話し合いは、普及行動計画の改訂時に行なうことが基本となるが、まずは事務局で検討し、E☆S メンバー交流会やE☆S 会議の場で話し合う。

⇒当日の昼食をどうするか事務局で検討。

#### 5. 活動報告と告知

事務局から地域活動の実施状況と今後の予定について説明

- ⇒・サロベツ・エコモー・ツアー第1弾（落合沼）の報告
  - ・渡り鳥観察会の報告
  - ・サロベツ・エコモー・ツアー第2弾（泥炭採掘跡地）の告知
  - ・稚咲内砂丘林再生活動 ミズナラ植樹イベントの告知

#### 6. その他

⇒次回の会議は10月31日（木）。

## エコモー☆サポートー 年間スケジュール

- ①エコモー・プロジェクトの輪を広げる**
- ◆地域活動リストの更新を行ながら適用し、地域の行事に参加してつながりをつくる。
  - ◆サロベツ・エコモー・プロジェクトに参加しやすくなるよう工夫して活動する。

### ②活動ごとの効果を高める

- ◆普及活動計画をより意識した活動を行う。
- ◆自然再生PR活動の来訪者数にアンケートに答えていただける工夫をし、活動の効果を高める。

H25年度

方針

### ③エコモー☆メンバーコミニティの交流がより深まるよう工夫する

- ◆エコモー☆メンバーコミニティ交流会を開催し、メンバー同士が体感を持てる場をつくる
- ◆エコモー☆メンバーコミニティ交流会以外でも、活動を紹介できる場をつくる
- ◆エコモー☆メンバーコミニティでは楽しいアイデアが広がるような企画を検討する
- ◆事務手続きについても改善すべき点があるか検討し、必要な改善を行なう

	H24年度			H25年度									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議				月1回程度開催									
サロベツ・エコモー・プロジェクト				随時活動募集・受付									
自然再生PR													
他団体との連携強化					随時地域活動のリスト更新・参加								
研修						環境学習ツアーノどに参加							

**地域活動リスト(平成25年 10月 31日更新) 「湿原の保全」「農業の振興」「地域づくり」に關わりのある地域活動**

開催日	開催場所 開催時間	行事名	主催者	連絡先	概要	サロベツ・エコモー・プロジェクト 登録状況					
						2008	2009	2010	2011	2012	2013
4月 21日(日)	稚内海岸 9:30~	稚内海岸砂丘講習 サロベツ原生花園清掃	利尻礼文サロベツ 国立公園パークボランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	豊富町民や豊富町の各関係機関、団体が一丸となって地域の景観を維持するため推進の砂丘上にあるゴミの大清掃を行う行事。						
4月 29日(月)	サロベツ湿原 センター	サロベツの春を探して う!観察会	オハツワード俱楽部	サロベツ湿原センター TEL: 0162-82-3232	早春のサロベツ原野で動植物を探し、春の鳥吹を参加者全員で感じる観察会。	○	○	○			
5月~3月 月1~2回程度	サロベツ湿原 センターほか	なまら! サロベツ∞クラブ	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	サロベツ湿原センター TEL: 0162-82-3232	豊富町の小中学生を対象に、カヤックでのベンケ沼の深険や野鳥観察などを通じてサロベツの自然を体で感じ、サロベツ地域の良さを探る行事。	○					
5月 1日(金)	自然公園ほか 9:00~	春のクリーン作戦	豊富町 市民課	豊富町役場 TEL: 0162-82-1001	ボランティアで参加している市街地住民・地域住民・老人クラブや豊富町の各関係機関や団体が地域の景観維持のため主要道路や觀光路線の大清掃を行う行事。(広報どよみより引用)						
5月 4日(土)	湿原 センター前 11:00~	ゴミのポイ捨て 禁止啓発活動	豊富地区自治会・ 婦人部・老人会ほか	豊富町役場 TEL: 0162-82-1001	サロベツ湿原センター来場者に地域の入産がゴミのポイ捨て禁止のチラシと宣言牛乳を配布する行事。	○					
5月 19日 (日)					多くの方にサロベツ原野の自然や歴史を机上の講義とフィールドでの体験を通して学ぶことによって、より身近なものとして感じてもらいたい、それを他の人に伝えることのできる人材になってもらえるよう企画した行事						
6月 16日 (日)											
7月 21日 (日)											
8月 18日 (日)											
9月 22日 (日)	サロベツ 湿原センターほか	NPO法人サロベツ 自然語講座	NPO法人サロベツ ・エコ・ネットワーク	サロベツ湿原センター TEL: 0162-82-3232	多くの方にサロベツ原野の自然や歴史を机上の講義とフィールドでの体験を通して学ぶことによって、より身近なものとして感じてもらいたい、それを他の人に伝えることのできる人材になってもらえるよう企画した行事	○	○	○			
10月 20日 (日)											
1月 19日 (日)											
2月 16日 (日)											
5月 20日 (月)	豊徳地区	桜の苗の植樹	豊徳地区協議会	豊富町役場・農政課 TEL: 0162-82-1001	昨年に植樹した桜の冬枯れを外す作業等を行ないます。						
5月 26日 (日)	豊富町開道祭 9:00~	一斉外来種除去 (豊富地区)	利尻礼文サロベツ 国立公園パークボランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	5月22日『国際生物多様性の日』にちなみ、利尻礼文サロベツ国立公園内の生物多様性の保全を目的として外来種の除去を行なう行事。	○	○	○			
6月 9日(土)	サロベツ湿原 センター 10:00~	サロベツ自然観察会	利尻礼文サロベツ 国立公園パークボランティアの会	稚内自然保護官事務所 TEL: 0162-33-1100	サロベツの自然に親しみきっかけ作りとしてサロベツ湿原センターの木道について散策を行いながら、自然観察や、講師の解説を聞く行事。	○					
6月 29日 (土)	エベコロベツ川	サロベツ探検隊 水質調査	豊富町教育委員会	豊富町教育委員会 TEL: 0162-82-1355	天北塾 相元氏を講師とし、下エベコロベツ川の水質調査を行う。						

7月3日水	サロベツ湿原 センター	地地域連携プロジェクト 協定に基づく見学会	稚内開発建設部 稚内開発建設部	稚内開発建設部 TEL: 0162-33-1186	豊富中学校の生徒を対象に地域の豊富と自然環境に関する知識的理解 の向上を目的とした講座と現地見学会を行う行事。
7月6日土	幌延駅ほか 7:30~	サロベツHANA マラソン	HRC 幕延ランニ ングクラブ	法昌寺 稲垣敏順 TEL: 01632-5-2556	幌延駅から幌延ビジャーセンター及びサロベツ温泉センターを経由 して豊富温泉までの約 50 キロの道程をサロベツに咲くエンカシ ツや野鳥の動きを見にしながら走る行事。
7月7日(日) 8月未定 9月未定	サロベツ川流 域	湿原を流れるサロベツ 川を知る	サロベツの今を見 直す 100 の声の会 会	谷垣 重遠 TEL: 0162-23-5157	サロベツ川を農家の視点で考える。
7月19日(金) 8月1日(木) ~ 8月11日(木)	幌延町国際交 流施設	ふるさと動植物写真展	幌延町教育委員会 幌延町教育委員会	TELE: 01632-5-1117	動物写真家 富士元美彦氏による動物たちの生態を紹介する。 サロベツ原野でたくましく生きる動物たちの生態を紹介する。
7月20日 (土)	稚内海岸	クリーンワーカー 船映内海岸清掃	豊富町商工観光課 豊富町商工観光課	TEL: 0162-82-1001	漂着ゴミや、不法投棄されたゴミを地域ぐるみで拾い集める行事 (広報とよどみより引用)
7月25日 (木)	自然公園	NPO 法人サロバ ツ・エコ・ネット ワーク	ホタル観察会 ホタル観察会	TEL: 0162-82-3232	身近な場所にホタルが生息しているということを知ついただき、 夏の夜を楽しむ行事。

開催日	開催場所 開催時間	行事名	主催者	連絡先	概要						サロベツ・エコモード・プロジェクト 登録状況
					2008	2009	2010	2011	2012	2013	
7月28日(日)	自然公園	第4回ホッキまつり	豊富町観光協会	豊富町役場 商工観光課 TEL: 0162-82-1001	地元の稚内(わかさかまない)漁船の「活ホッキ貝」の販売から、 ホッキ貝を使った料理を提供する出店が並ぶ食の祭典。 (広報とよどみより引用)						
7月31日(水)	幌延町国際交 流施設	ひるさと動植物 DVD上映会	幌延町教育委員会 幌延町教育委員会	TELE: 01632-5-1117	動物写真家 富士元美彦氏による DVD 上映会。国立公園であるサ ロベツの自然に親しみ生きる動物たちの生態を紹介する。						
7月19日(金)	パンケ沼 木道	木道ナイトハイク	利尻礼文サロベツ 国立公園パークボ ランティアの会	TEL: 0162-33-1100	サロベツの自然に親しみ生きる動物たちの生態を紹介する サロベツの自然に親しみ生きる動物たちの生態を紹介する	○	○	○	○	○	
8月11日(日)	サロベツ湿原 センター	サロベツ自然観察会	利尻礼文サロベツ 国立公園パークボ ランティアの会	TEL: 0162-33-1100	サロベツの自然に親しみ生きる動物たちの生態を紹介する	○	○	○	○	○	
9月7日(土) ~ 9月8日(日)	豊富町	北海道牛乳のふるさと を訪ねるツアー	宗谷総合振興局 セイコーマート	TEL: 011-251-0011	1泊2日で牛の搾りや牛乳工場見学を行い、命の尊さや食べ物 の大切さを知つもらう。参加者が飼養へ理解を深めてもらい 酪農振興に図る行事。						
9月下旬	下沼の牧草地帶	秋の渡り観察会	利尻礼文サロベツ 国立公園パークボ ランティアの会	TEL: 0162-33-1100	サロベツの自然に親しみかけ作りとしてスタッフの案内でペン ケ沼、パンゲ沼周辺の牧草地を車で移動し、オオヒシノイを始め、 遠く海を渡ってきた渡り鳥を観察する行事。	○	○	○	○	○	
9月下旬	自然公園ほか 9:00~10:00	秋のクリーン作戦	豊富町 町民課	TEL: 0162-82-1001	ボランティアで参加している市街地住民・地域住民・老人クラブや 路線の大清掃を行う行事。						

9月 28日(土)	落合地区	サロベツ環境学習 ツアー 1回目	稚内自然保护官事務所	稚内自然保护官事務所 TEL : 0162-33-1100	自然再生事業を広く一般の方々に知つていただくため、普段は入ることのできない調査用の木道を通り、各開催場所で自然再生事業の取り組み内容やその成果などを紹介する行事						○
9月 28日(土)	下工ベコロベ ツ川	サロベツ深淵隊 魚類調査	豊富町教育委員会	TEL:0162-82-1355	天北塾、村元氏を講師とし、下工ベコロベツ川に生息している魚類の調査を行う。						○
10月 14日(月)	サロベツ湿原 センター 9:00～16:00	サロベツ・エコモー DAY	稚内自然保护官事務所	稚内自然保护官事務所 TEL : 0162-33-1100	地域の方々に、温原と農業の共生を目指したサロベツ自然再生事業をより身近に感じていただくため、豊富牛乳を使つたメニューコンテストや町のおじいちゃんからサロベツの歴史を開くなど、サロベツの温原と農業の共生を樂みぶらかるイベントを行つ。						○
10月 19日(土)	泥炭地植物園地	サロベツ環境学習 ツアー 2回目	稚内自然保护官事務所	稚内自然保护官事務所 TEL : 0162-33-1100	自然再生事業を広く一般の方々に知つていただくため、普段は入ることのできない調査用の木道を通り、各開催場所で自然再生事業の取り組み内容やその成果などを紹介する行事						○
10月 20日(日)	豊徳	私の外来種除去	利尻礼文サロベツパークボ ランティアの会	稚内自然保护官事務所 TEL : 0162-33-1100	利尻礼文サロベツ国立公園内の生物多様性の保全を目的として外来種の除去を行う行事。						○
10月 26日(土) 10月 27日(日)	町民センター	町民文化祭	豊富町教育委員会	TEL:0162-82-1355	市民による出展形式の展示会と演奏会などを行なう。						○
11月 2日(土)	稚内 再生地壱内 9:30～11:30	ミズナラ苗木の 植樹活動イベント	稚内砂丘林再生 検討委員会	サロベツ温原センター TEL : 0162-82-3232	稚咲内の再生地壱内に、地域住民や豊富町の各関係機関、団体が一丸となり植樹作業を行う。(旧稚咲内リ学校グラウンド集合)						○ ○ ○ ○
2月中旬	サロベツ温原 センター	スノーシュー散策会	利尻礼文サロベツ 国立公園 パークボ ランティアの会	稚内自然保护官事務所 TEL : 0162-33-1100	世界温地の日(ラムサール条約採択日)にちなみ、スノーシューを行い世界温地の日(ラムサール自然難破を行う事。						○ ○ ○ ○
2月上旬	幌延町下沼	世界温地の日 記念イベント	サロベツ・ネイチャ ヤーゲームの会	サロベツ・ネイチャ ヤーゲームの会 TEL : 0162-33-1100	世界温地の日(ラムサール条約採択日)にちなみ、サロベツ原野にちばんにチヤーゲームや自然観察、講義等を行う行事。						○ ○ ○ ○
未定	未定	サロベツ今昔物語	ノブの会	谷垣 重遠 TEL : 0162-23-5157	サロベツ原野の開拓の歴史と実状の把握、文書化して記録を残す。						○ ○ ○ ○

## サロベツ・エコモーブプロジェクト 2013 活動リスト

番号	取り組み名	実施者	行う時期・回数	取り組みの内容
1	上サロベツの自然と農業 を学ぶハネル展	稚内開発建設部農業開発課、土地改良情報対策官 稚内農業事務所	連年：サロベツ湿原センター、 農業と自然の再生を目指す上サロベツ地域の取組や農業の振興に関する地域情報を紹介するパネル展を開催します。	
2	上サロベツ農業情報マップ	稚内開発建設部農業開発課・土地改良情報対策官 豊富町（體政課）	月：エコモーダイ	上サロベツ地域の農業情報報を紹介する「上サロベツ農業情報マップ」を役場・観光情報センター等の公共施設と記事掲載媒体に置き、 市民や来町者等に情報提供を行います。
3	サロベツHANAマラソン2013	HRC 輪延ランニングクラブ 稻垣 純一郎	平成25年7月6日（土）	サロベツに咲くエゾカシワや野鳥の動きを耳にしながら、輪延ビレッジセンター及びサロベツ湿原センターを経由して豊富温泉までの42キロ走るマラソン企画。
4	サロベツ今昔物語	ノブの会	未定	サロベツ原野の開拓の歴史と実状を把握し、文章化して記録を残します。
5	湿原を流れる サロベツ川を知る	サロベツの今を 見直す100の声の会	7月7日（実施済み） 8月末定 9月末定	サロベツ川の原流部から下流域まで調査し、郷土の川であるサロベツ川を酪農家の視点で考えます。
6	「なまら！サロベツクラブ」 ～次世代環境リーダー育成事業～	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	5月～3月まで月1回程度実施	小中学生を対象に四季を通してサロベツ原野の保全に携わる活動を実施し、地域の素晴らしさを伝えることで、人・地域・自然への愛着を深め、将来的にサロベツはもとより、幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーを養成するための基礎を作ります。
7	サロベツ自然語講座	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	5月～2月まで月1回程度実施	多くの方々に伝えることのできる人材になつてもらおるよう企画を行なう。平成19年度から継続実施しているが、今年度は開講期間を拡大し、過去の講座で定番になっている内容をもとにお送りする「基礎編」と、より深く学びたい方向けの「発展編」を行なう。
8	稚内砂丘林再生プロジェクト	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク・稚内市、宗谷総合振興局、環境省稚内自然保護官事務所	5月～11月 利尻礼文サロベツ国立公園内砂丘林（町有林）	国立公園内の特別保護地区の稚内砂丘林（町有林）において、無立木地化した約3haの森林再生に向けて、利尻礼文サロベツ国立公園内の稚内砂丘林（町有林）を植樹を実施する。
9	サロベツ自然観察会	利尻礼文サロベツ国立公園バーカボランティアの 会、稚内自然保護官事務所	6月9日（日） 8月11日（日） サロベツ湿原センター	湿原の花々が咲くサロベツ湿原センターの木道の内周と外周を開闢しながら、植物の芽吹きやつぼみ、花のほか、鳥のさえずりなどを見察しました。講師の遠島幸さんからは花の特徴だけではなく、それらが薬草として利用されてきた歴史や使用方法などについても教えて頂くことができました。
10	木道ナイトハイク	利尻礼文サロベツ国立公園バーカボランティアの 会、稚内自然保護官事務所	7月19日（日） 法昌寺（輪延）、ハンケ沼塗地	輪延町下沼にあるハンケ沼塗地にて、動物写真家の富士元寿彦さんに解説をいただきながら、ハンケ沼沿いの木道を歩き、ハイカボタルや夜に舞うアオサギの姿、星空を観察しました。

### 【登録予定リスト】

- ・オババパワー俱楽部：自然観察会
- ・豊富町：ゴミのポイ捨て禁止啓発活動
- ・利尻礼文サロベツ国立公園PV、稚内自然保護官事務所：外来種除去、渡り鳥観察会
- ・東條さん：ボニーの幌馬車
- ・稚内自然保護官事務所：サロベツ・エコモーダイ、サロベツ・エコモーツアーズ
- ・みさたろどゆかいな仲間たち＆サロベツグクラブ：押忍！我ら豊富町『カレー部』！
- ・北海道大学植物同好会：サロベツサブレソジャーナル

## サロベツ・エコモーDay のふりかえり

### 1 イベント全体について

- ① 来場者数：230人（昨年133名）
- ・サロベツを食べよう 129人
- ・パネル展 128人
- ・秋の木道観察会 55人
- ・エコモー交流会 31人
- ・浚渫船に乗ってみよう 60人
- ・農業機械に乗ってみよう 69人
- ・ポニーの幌馬車 77人



⇒町内や近隣市町村への周知を早めに行えたことにより、昨年より来場者数が多く大変好評であった。また、天候も安定していたので野外活動の企画にもたくさんの方々に来ていただいた。

### ② 当日全体の流れ

⇒最後は皆で交流会に参加する流れができると良かった。

### 2 各企画について

#### ① サロベツを食べよう

⇒来場者数が129名と最も多く、大変好評な企画であった。レストハウスの方からは来年度、提供時期を考慮しつつ新メニューとして提供できればといったご意見があった。

#### ② 秋の木道散策会

⇒当日は直接の声かけの効果があり、各回ともにたくさんの方々に参加していただいた。

#### ③ エコモー交流会

⇒発表形式の交流会は好評であった。また高校生と大学生でそれぞれの視点があったので、お互い良い刺激となっていた。

#### ④ 浚渫船の開放

⇒当日はトラクターの設置場所が変更となったため、人の流れを生み出しにくかったが、湿原センターでの直接の声かけもあり、たくさんの方々に乗っていただくことができた。

#### ⑤ トラクター試乗

⇒当日は運転席に試乗できたことから親子での参加が多かった。

#### ⑥ 牧草ロール展示

⇒今年からラップサイレージに絵を描ける取り組みを実施したことにより大変好評であった。

#### ⑦ ポニーの幌馬車

⇒親子での参加が多く好評であった。

#### ⑧ 自然再生パネル展・クイズラリー

⇒クイズラリーの用紙とアンケートを一体化したことにより、アンケートの回収率が非常に良かった。  
(58名中55名の回答を得た) ⇒クイズの表面の下に、裏面のアンケートのことを標記すると分かりやすかった。

#### ⑨ その他

⇒イベント告知の看板やポスターが各所に掲示され、参加者へのイベント開催の意識付けや周知が上手くできた。

### 3 各活動の写真

#### ① サロベツを食べよう



#### ② 秋の木道散策会



#### ③ エコモー交流会



#### ④ 浚渫船の開放



⑤ トラクター試乗



⑥ 牧草ロール展示



⑦ ポニーの幌馬車



⑧ 自然再生パネル展



## サロベツ・エコモード Day 全体アンケート集計について

### ■アンケート対象者と回収率

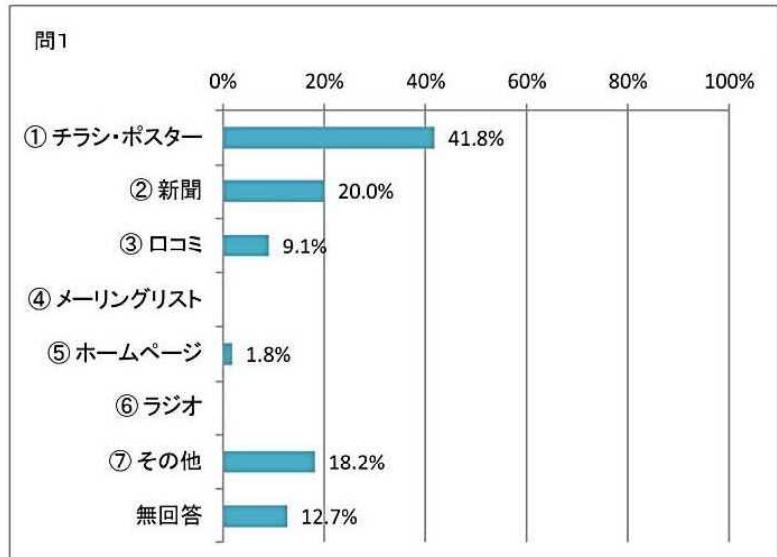
対象	配布数	回答数	回収率
サロベツ・エコモード Day クイズラリー回答者	58	55	94.8%

①集計

## アンケートの集計結果（総計）

問1 あなたは本日の「エコモーDay」について、何で知りましたか？（複数回答可）

	回答数	割合
① チラシ・ポスター	23	41.8%
② 新聞	11	20.0%
③ 口コミ	5	9.1%
④ メーリングリスト	0	0%
⑤ ホームページ	1	1.8%
⑥ ラジオ	0	0%
⑦ その他	10	18.2%
無回答	7	12.7%
回答者数	55	

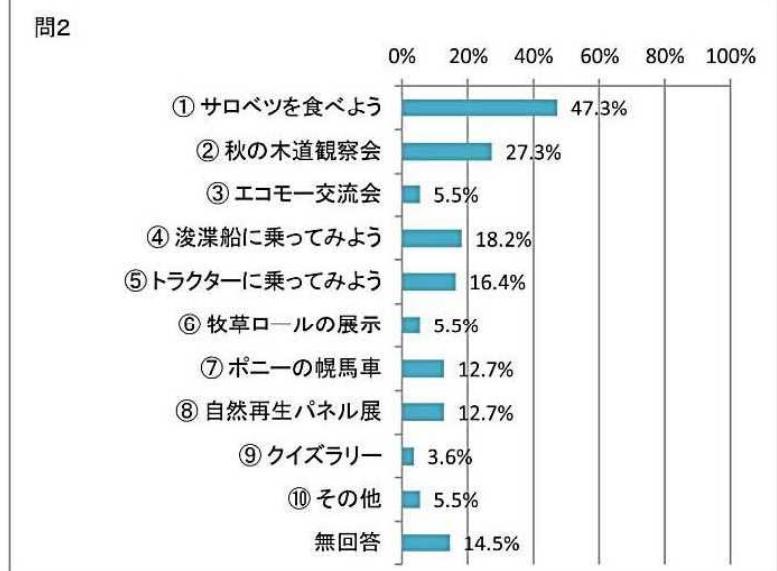


【他の意見】

先生、学校を通して(3) 友人から(1) 親から(1) 旅行中に立ち寄った、会場に来てみて(5)

問2: 本日の「サロベツ・エコモーDay」で、興味をひいたものは何ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
① サロベツを食べよう	26	47.3%
② 秋の木道観察会	15	27.3%
③ エコモー交流会	3	5.5%
④ 浚渫船に乗ってみよう	10	18.2%
⑤ トラクターに乗ってみよう	9	16.4%
⑥ 牧草ロールの展示	3	5.5%
⑦ ポニーの幌馬車	7	12.7%
⑧ 自然再生パネル展	7	12.7%
⑨ クイズラリー	2	3.6%
⑩ その他	3	5.5%
無回答	8	14.5%
回答者数	55	



【他の意見】

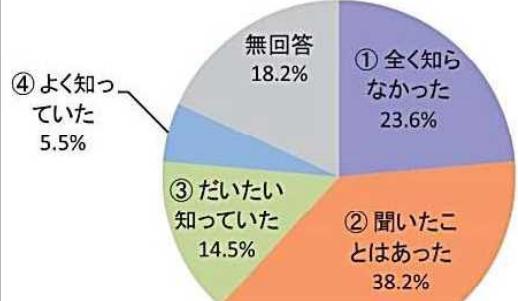
とよとみ君(3)

## ①集計

問3: サロベツで自然再生に向けた取り組みが行われていたことはございましたか？(一つだけ)

	回答数	割合
① 全く知らなかった	13	23.6%
② 聞いたことはあった	21	38.2%
③ だいたい知っていた	8	14.5%
④ よく知っていた	3	5.5%
無回答	10	18.2%
合計	55	

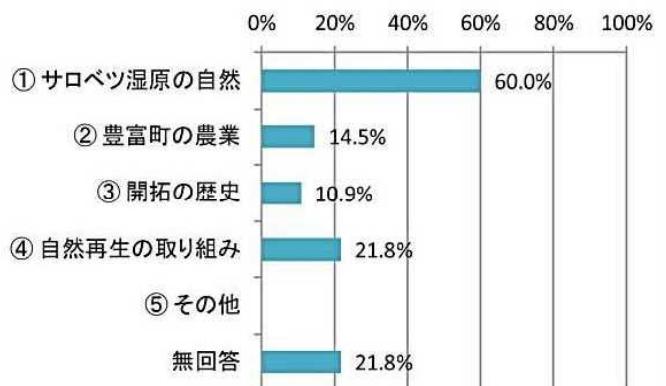
問3



問4: サロベツ湿原や農業の共生について、どのようなことに興味を持ちましたか？(複数回答可)

	回答数	割合
① サロベツ湿原の自然	33	60.0%
② 豊富町の農業	8	14.5%
③ 開拓の歴史	6	10.9%
④ 自然再生の取り組み	12	21.8%
⑤ その他	0	0%
無回答	12	21.8%
合計	55	

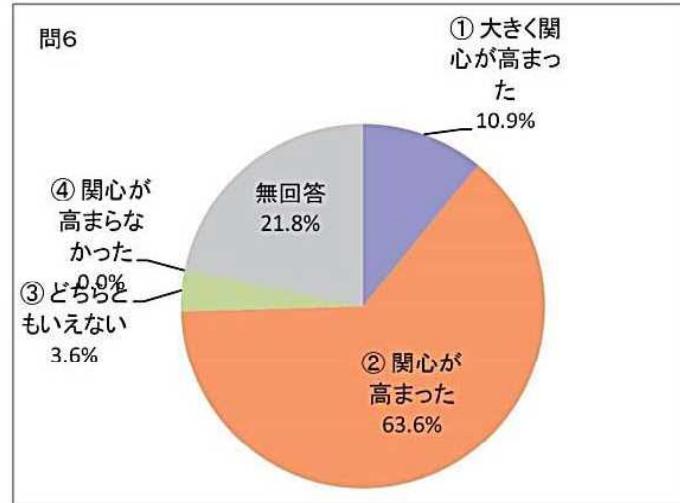
問4



## ①集計

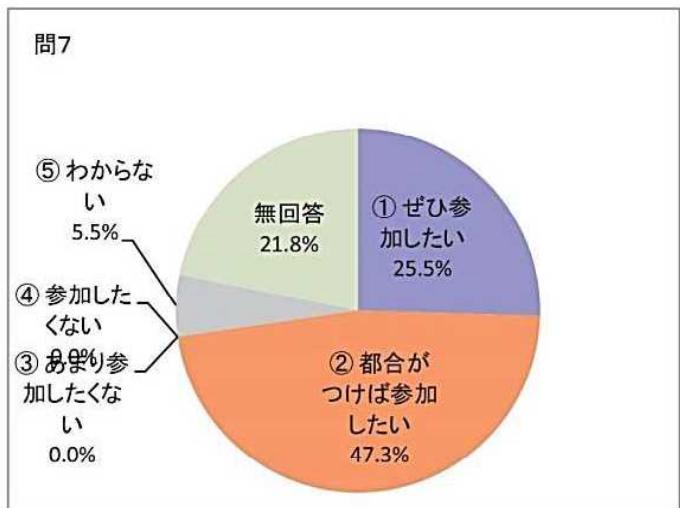
問6:「エコモードDay」に参加して、湿原と農業の共生について  
関心が高まりましたか？(一つだけ)

	回答数	割合
① 大きく関心が高まった	6	10.9%
② 関心が高まった	35	63.6%
③ どちらともいえない	2	3.6%
④ 関心が高まらなかった	0	0%
無回答	12	21.8%
合計	55	



問7:今後もこのようなイベントがあった場合、参加したいと思  
いますか？(一つだけ)

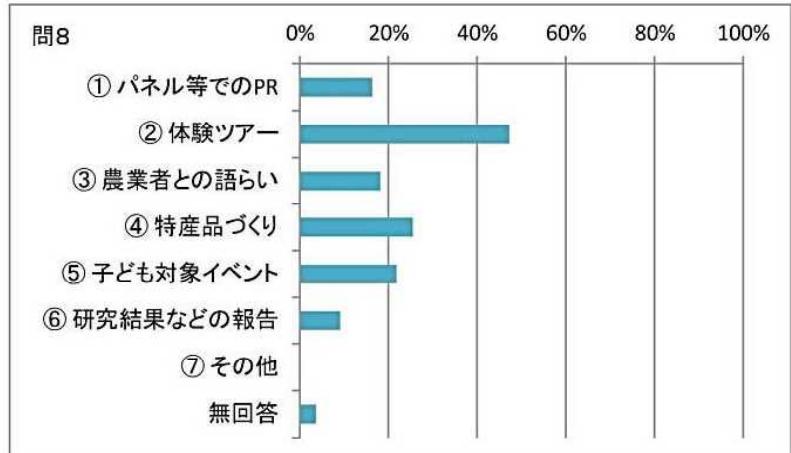
	回答数	割合
① ぜひ参加したい	14	25.5%
② 都合がつけば参加したい	26	47.3%
③ あまり参加したくない	0	0%
④ 参加したくない	0	0%
⑤ わからない	3	5.5%
無回答	12	21.8%
合計	55	



## ①集計

問8：自然再生の取り組みをより身近に感じるために、今後どのようなことが必要だと思いますか？（複数回答可）

	人数	割合
① パネル等でのPR	9	16.4%
② 体験ツアー	26	47.3%
③ 農業者との語らい	10	18.2%
④ 特產品づくり	14	25.5%
⑤ 子ども対象イベント	12	21.8%
⑥ 研究結果などの報告	5	9.1%
⑦ その他	0	0%
無回答	2	3.6%
合計	55	



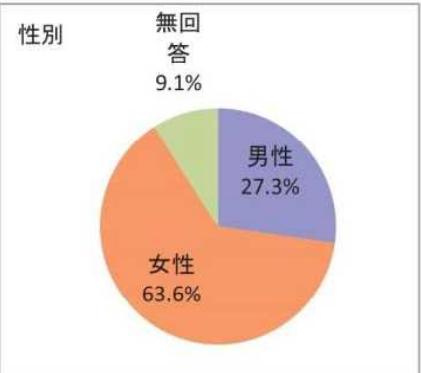
【他の意見】

①集計

問10:あなたご自身について

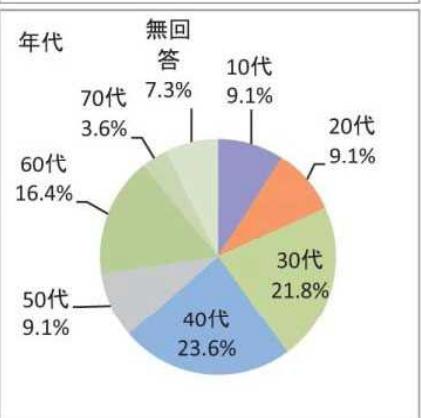
性別

	回答数	割合
男性	15	27.3%
女性	35	63.6%
無回答	5	9.1%
合計	55	



年代

	回答数	割合
10代	5	9.1%
20代	5	9.1%
30代	12	21.8%
40代	13	23.6%
50代	5	9.1%
60代	9	16.4%
70代	2	3.6%
無回答	4	7.3%
合計	55	



お住まい

	回答数	割合
豊富町	9	16.4%
幌延町	1	1.8%
天塩町	2	3.6%
稚内市	21	38.2%
その他の道内	13	23.6%
道外	7	12.7%
無回答	2	3.6%
合計	55	



## 自由回答

問5:問4(サロベツ湿原や農業の共生について、どのようなことに興味を持ちましたか?)で、あなたがそのように回答した理由

問4の回答	問5の回答
①サロベツ湿原の自然	珍しい植物やふだん見られない動物に興味があるから 自然の大切さを守りたいから 日本最大の高層湿原で貴重なため 実際に子どもたちと触れてみて興味をもった 初めて浚渫船に乗って泥炭採掘の歴史を知りました 道南でこのような場所はないから 野の花と豊富牛乳が好きだから 世界的に見ても非常に貴重な環境だから 自然の大切さ 尾瀬の湿原に行ったことがあるので、サロベツ湿原にも興味がありました。植物の違いが分かりよかったです。
③開拓の歴史	歴史に興味があります。
④自然再生の取り組み	自然環境の保全 自然との共存を教えていかないと人の生活の利便性のみが追求されていき、後に歪みが生じると考えるから
①サロベツ湿原の自然 と ②豊富町の農業	農家だから 酪農の町だから 自然を生かしながら人間が生活できる
①サロベツ湿原の自然 と ③開拓の歴史	このような土地ができた歴史に興味がある
①サロベツ湿原の自然 と ④自然再生の取り組み	豊かな自然と動物を守りたいから サロベツ原野のしくみを知らなかつたため パネルを見て興味が湧いたので
②豊富町の農業 と ③開拓の歴史	農家ですから
②豊富町の農業 と ④自然再生の取り組み	農業に関心があるから
③開拓の歴史 と ④自然再生の取り組み	土地の歴史に興味があるから
無回答(26)	

問9:イベント全体を通して、ご意見・ご感想があればお書きください

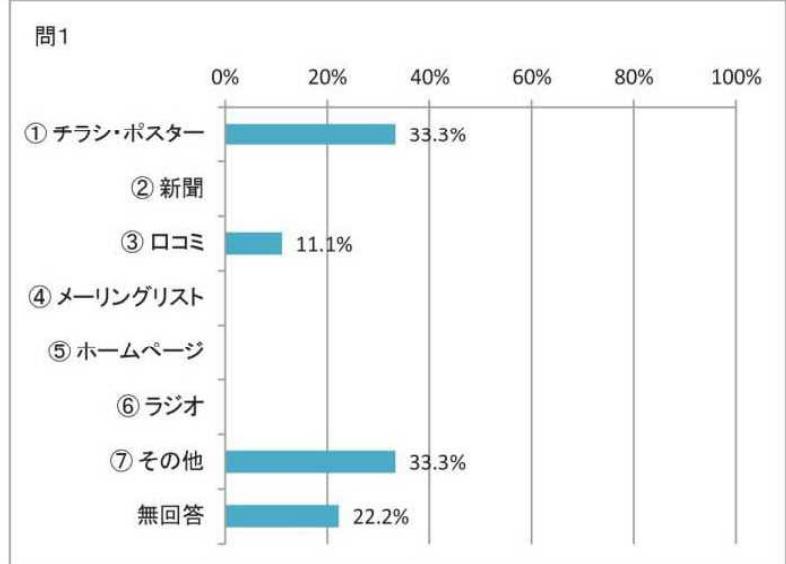
記述内容
子どもたちが楽しめました。
樂しければ何でもサイコー
宣伝をもっと…
お疲れ様でした
お疲れ様です。
今後もお願ひします。
面白かった。
もう少し子どもが興味のある物があればなと思いました。すぐ、飽きてしまった。
若い子達が頑張っている姿が印象的でした。
展示が工夫されていて楽しめました。わかりやすかったです。
若い人達が一生懸命取り組んでいるのを見てたのもしく思いました。
スタッフの皆さん、たくさんの準備をありがとうございました。20年前に6年間、夫の仕事の都合で豊富に住んでいました。息子(21)は豊
クイズの答えをすぐ教えすぎだと思います。
大変来て良かったと思っている。勉強になりました。
よかったです
いい感じで満足しています。

②集計

## アンケートの集計結果（豊富町内）

問1 あなたは本日の「エコモーDay」について、何で知りましたか？（複数回答可）

	回答数	割合
① チラシ・ポスター	3	33.3%
② 新聞	0	0%
③ 口コミ	1	11.1%
④ メーリングリスト	0	0%
⑤ ホームページ	0	0%
⑥ ラジオ	0	0%
⑦ その他	3	33.3%
無回答	2	22.2%
回答者数	9	

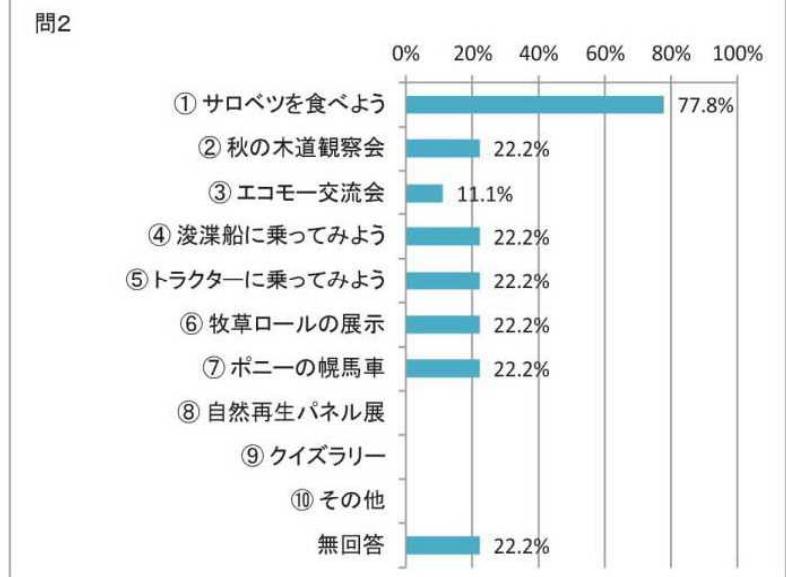


【他の意見】

先生、学校を通して(3)

問2：本日の「サロベツ・エコモーDay」で、興味をひいたものは何ですか？（複数回答可）

	回答数	割合
① サロベツを食べよう	7	77.8%
② 秋の木道観察会	2	22.2%
③ エコモー交流会	1	11.1%
④ 游覧船に乗ってみよう	2	22.2%
⑤ トラクターに乗ってみよう	2	22.2%
⑥ 牧草ロールの展示	2	22.2%
⑦ ポニーの幌馬車	2	22.2%
⑧ 自然再生パネル展	0	0%
⑨ クイズラリー	0	0%
⑩ その他	0	0%
無回答	2	22.2%
回答者数	9	

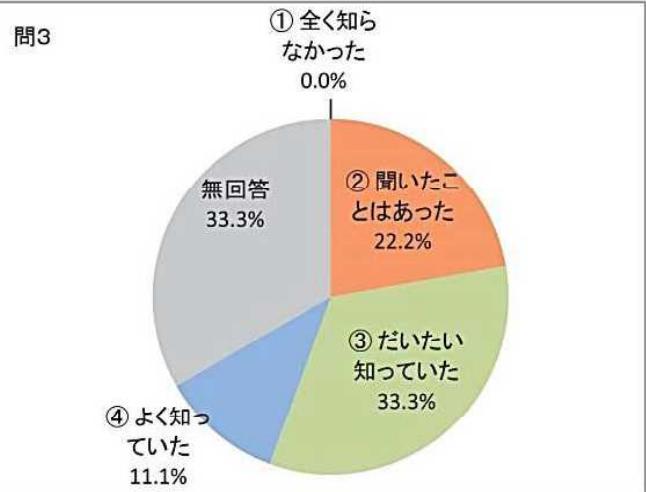


【他の意見】

## ②集計

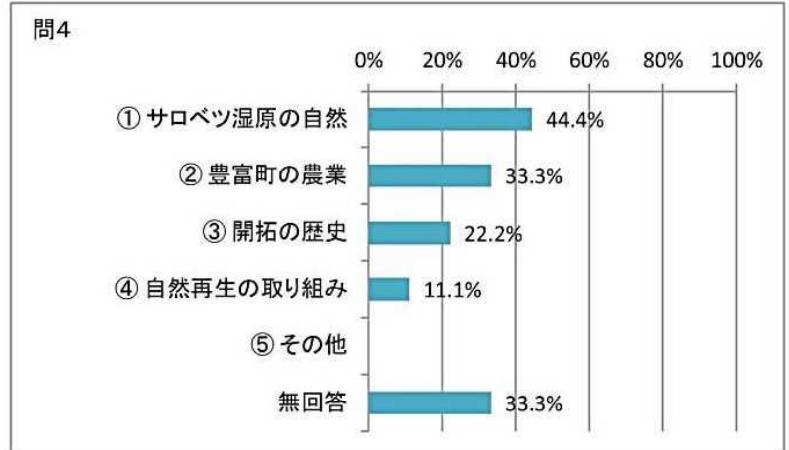
問3: サロベツで自然再生に向けた取り組みが行われていたことはご存じでしたか？(一つだけ)

	回答数	割合
① 全く知らなかった	0	
② 聞いたことはあった	2	22.2%
③ だいたい知っていた	3	33.3%
④ よく知っていた	1	11.1%
無回答	3	33.3%
合計	9	



問4: サロベツ湿原や農業の共生について、どのようなことに興味を持ちましたか？(複数回答可)

	回答数	割合
① サロベツ湿原の自然	4	44.4%
② 豊富町の農業	3	33.3%
③ 開拓の歴史	2	22.2%
④ 自然再生の取り組み	1	11.1%
⑤ その他	0	
無回答	3	33.3%
合計	9	

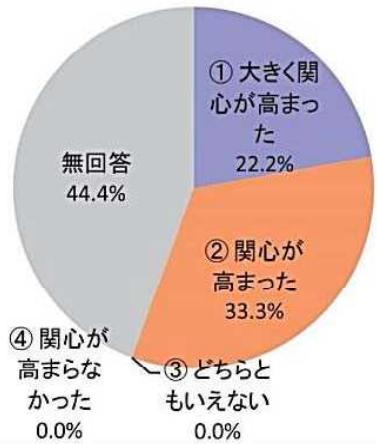


## ②集計

問6:「エコモーダイ」に参加して、湿原と農業の共生について  
関心が高まりましたか？(一つだけ)

	回答数	割合
① 大きく関心が高まった	2	22.2%
② 関心が高まった	3	33.3%
③ どちらともいえない	0	0.0%
④ 関心が高まらなかった	0	0.0%
無回答	4	44.4%
合計	9	

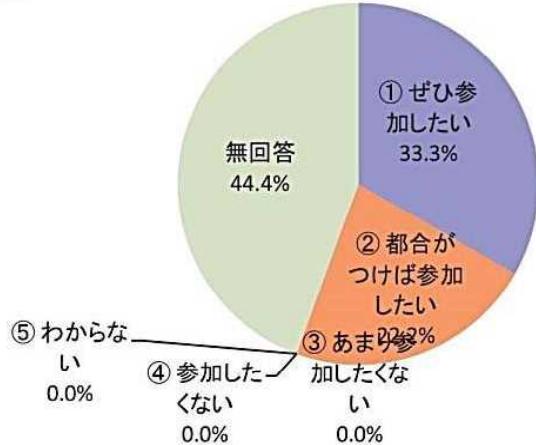
問6



問7:今後もこのようなイベントがあった場合、参加したいと思  
いますか？(一つだけ)

	回答数	割合
① ぜひ参加したい	3	33.3%
② 都合がつけば参加したい	2	22.2%
③ あまり参加したくない	0	0.0%
④ 参加したくない	0	0.0%
⑤ わからない	0	0.0%
無回答	4	44.4%
合計	9	

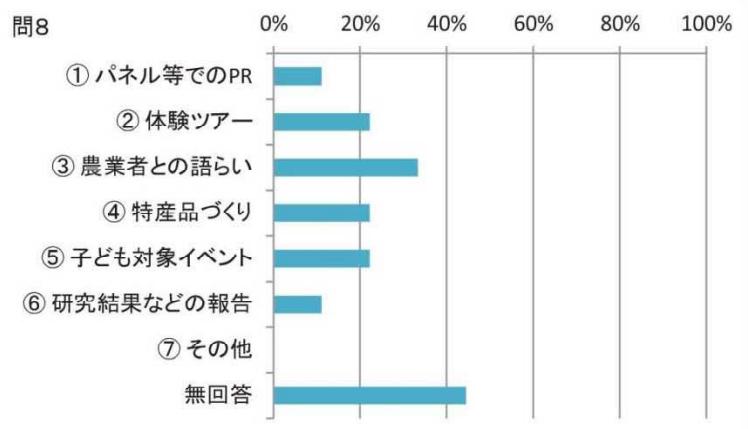
問7



## ②集計

問8：自然再生の取り組みをより身近に感じるために、今後どのようなことが必要だと思いますか？（複数回答可）

	人数	割合
① パネル等でのPR	1	11.1%
② 体験ツアー	2	22.2%
③ 農業者との語らい	3	33.3%
④ 特產品づくり	2	22.2%
⑤ 子ども対象イベント	2	22.2%
⑥ 研究結果などの報告	1	11.1%
⑦ その他	0	0.0%
無回答	4	44.4%
合計	9	100.0%



【その他の意見】

## ②集計

問10：あなたご自身について

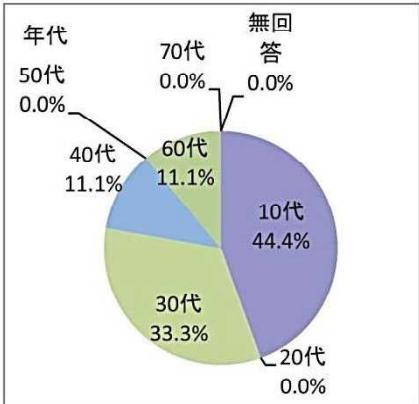
性別

	回答数	割合
男性	1	11.1%
女性	8	88.9%
無回答	0	0.0%
合計	9	100.0%



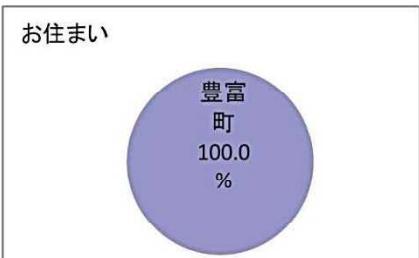
年代

	回答数	割合
10代	4	44.4%
20代	0	0.0%
30代	3	33.3%
40代	1	11.1%
50代	0	0.0%
60代	1	11.1%
70代	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	9	100.0%



お住まい

	回答数	割合
豊富町	9	100.0%
合計	9	100.0%



## 自由回答

問5:問4(サロベツ湿原や農業の共生について、どのようなことに興味を持ちましたか?)で、あなたがそのように回答した理由

問4の回答	問5の回答
③開拓の歴史	歴史に興味があります。
①サロベツ湿原の自然 と ②豊富町の農業	農家だから 酪農の町だから
②豊富町の農業 と ③開拓の歴史	農家ですから
無回答(5)	

問9:イベント全体を通して、ご意見・ご感想があればお書きください

記述内容
子どもたちが楽しめました。 楽しければ何でもサイコー 宣伝をもっと… お疲れ様でした

## サロベツ・エコモー・メンバー交流会について

1. 日時 平成25年11月23日（土） 10:00～12:00
2. 場所 サロベツ湿原センター
3. 目的
  - ① エコモー・メンバーの交流を深める
  - ② エコモー・メンバーが互いの活動を報告し、活動のふりかえりを行なう
  - ③ 交流会を通して、より多くの方々にサロベツの魅力を伝える

### 4. 実施内容

#### ①事例発表 （時間：9:30～10:00）

釧路湿原で自然再生事業に携わっていた竹中自然保護官（羽幌自然保護官事務所）を招き、釧路湿原自然再生プロジェクトについて講演していただく。

#### ②エコモー活動報告会 （時間：10:10～12:00）

今年度、エコモープロジェクトにエントリーされた方々の取り組みについて、活動報告を行う。

#### ③座談会 （時間：12:00～12:30）

自由参加。報告会の質疑応答や今後の企画についてなどを気軽に話し合う。

### 5. 当日までのスケジュール（事務局の動き）

作業項目	10月	11月		
		上旬	中旬	当日
■活動登録の呼びかけ		11月9日まで		
■事例発表者との日程調整				
■チラシ・プレス・ML原稿作成		11月3日まで		
■活動実施者宛発表依頼文発送		11月3日まで		
■交流会のお知らせ発送・ML発信		11月9日まで		
■チラシの町内回覧、貼り出し		11月16日まで		
■出欠確認		11月16日まで		
■発表資料のとりまとめ ふりかえり資料のとりまとめ		11月16日まで		
■当日のプログラム作成 役割分担の連絡		11月16日まで		

# サロベツ



資料4-2

## エコモーメンバー交流会

<サロベツ・エコモー・メンバー交流会とは?>

より多くの方々にサロベツの魅力や自然再生の取り組みを知っていただくため、サロベツ・エコモー・メンバー交流会と称して自然再生普及活動の一つであるサロベツ・エコモー・プロジェクトの活動報告を行います。

<サロベツ・エコモー・プロジェクトとは?>

サロベツの自然や文化を楽しむ活動の輪を広げ、湿原と農業が共生する地域づくりを進めるためのプロジェクトです。

「エコモー」とは、エコロジーのエコと牛の鳴き声のモーからなる造語で、地域と自然が元気なサロベツにしていきたいという願いが込められています。

# 2013. 11. 23. (sat)

どなたでも参加  
できます

場所：サロベツ湿原センター 時間：9:30～12:00

### ○講演

竹中康進 氏(元釧路自然保護官事務所)をお招きし、釧路湿原の自然再生『ワンドグリンダプロジェクト』について紹介していただきます。

### ○活動報告

サロベツ・エコモー・プロジェクトにエントリーされた方々の活動報告を行います。

予定) 帷延ランニングクラブ、サロベツの今を見直す100の声の会

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク、稚内開発建設部

環境省稚内自然保護官事務所など



※報告会終了後に懇親会を開催致します。自由参加となりますので、是非ご参加下さい!!

主催：上サロベツ自然再生協議会 エコモー☆ソーター

お問い合わせ先：サロベツ湿原センター TEL:0162-82-3232 mail:ecomo@sarobetsu.or.jp

## 第14回 エコモー☆サポーター会議

日 時：平成25年12月11日  
時 間：18:00～19:30  
場 所：豊富町役場 2階会議室

### 開 会

#### 1. 【報告】

- 第13回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり (資料1)

#### 2. 【議題】

- サロベツ・エコモー・メンバー交流会のふりかえり (資料2)
- 平成25年の活動のふりかえり (資料3)
  - エコモー☆サポーター活動について
  - サロベツ・エコモー・プロジェクトについて

#### 3. 活動報告と告知

#### 4. その他

### 閉 会

## 第13回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり

### 開催概要

日 時：平成25年10月31日（木）18:00～19:30

場 所：豊富町役場 2階会議室

出席者：進藤哲、田中美佐保、谷垣重遠、西島今朝悟、嶋崎暁啓・吉原努（NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク）、野地正昭（稚内開発建設部）、坂井渉（豊富森林事務所）、中島信人・山上佳祐（稚内自然保護官事務所）、佐藤公一（宗谷総合振興局）、大須賀浩（豊富町）

### 議事概要

#### 1. 第12回エコモー☆サポーター会議ふりかえり（資料1）

事務局から資料を基に前回会議の内容について説明

#### 2. 年間スケジュール及び、エコモー・プロジェクト登録状況について（資料2）

事務局から資料を基に今後の予定とエコモー・プロジェクト登録状況について説明

- エコモー・プロジェクト登録について

⇒登録数を増やすために、個々に呼びかけを行うことを確認。

天北塾（環境省）、セイコーマートツアー（役場）、

JA北宗谷・普及センター、豊富高校（サロエコ）、豊富中学校（開発）

#### 3. サロベツ・エコモーDay のふりかえり（資料3）

事務局から資料を基にサロベツ・エコモーDay のふりかえりについて説明した。意見が出た項目については、検討課題とし次年度の取り組みに活かす。

- イベント全体について

⇒50名が関係スタッフとして関わり、連携することができた。

- 町内への周知について

⇒町内向けには、町内会、商工会、婦人部などの各団体に企画の話を持ち込むなどの工夫が必要という意見やシャトルバスを活用したらどうかという意見も出たので、今後検討する。

- サロベツを食べようについて

⇒今後もレストハウスと連携するために、お互いにメリットがある形で継続していくなら良いという意見が出た。

#### ・トラクター試乗について

⇒JA 北宗谷、普及センター、4H クラブに関わっていただき、豊富町の農業について学ぶ機会があれば良いという意見が出た。

#### ・牧草ロールの展示について

⇒牧草ロールについて理解が深まるようなクイズ等があれば良かったという意見が出た。農業に関心を持っていただくための企画を次年度検討する。

### 4. サロベツ・エコモー・メンバー交流会について（資料4）

事務局から資料を基に交流会の概要について説明

- ・発表は 1 活動質疑応答含め 10 分（発表は 5 分）
- ・事務局で当日のスケジュール表や役割分担表を作り事前に配布する
- ・役割分担は司会（野地さん）、受付（佐々木さん、谷垣さん）、タイムキーパー（西島さん）、カメラ係（サロエコ）、開会挨拶（田中さん）、閉会挨拶（西島さん）となった

⇒以上確認。

### 5. 活動報告と告知

事務局から地域活動の実施状況と今後の予定について説明

- ⇒
- |                   |                    |    |
|-------------------|--------------------|----|
| • 10/20 PV（豊富部会）  | 外来種除去活動（湿原センター）    | 報告 |
| • 10/29 PV（幌延部会）  | ササ刈り作業（幌延ビジターセンター） | 報告 |
| • 11/2 稚咲内砂丘林再生活動 | 植樹イベント             | 告知 |

### 6. その他

⇒次回の会議は 12 月 11 日（水）。

## サロベツ・エコモー・メンバー交流会のふりかえり

### ■開催概要

- 日時：平成 25 年 11 月 23 日（土） 9:30 ~ 12:10
- 場所：サロベツ湿原センター 多目的スペース
- 参加人数：35 名

### ■実施内容

今回は交流会と名称を改め、竹中康進氏による釧路湿原自然再生事業の取り組みについて講演していただき、講演後に今年実施したサロベツ・エコモー・プロジェクトの活動報告を行なった。活動報告会では、1 個人 10 団体、計 20 件の活動報告があった。

#### 【1. 講演概要】

羽幌自然保護官事務所自然保護官（元釧路環境事務所自然保護官）竹中康進氏より、『釧路湿原自然再生事業～普及啓発・市民参加の取組～』と題してご講演をいただいた。

#### ①釧路湿原について

- ・釧路湿原は約 2 万 ha の面積をもつ日本最大の湿原であり、約 2000 種類の動植物が生息する生き物の宝庫である。人間もまた、水源地や環境教育の場として湿原から恩恵を受けている。
- ・不毛の土地とされていた時代もあったが、湿原についての知見が集まり、現在では貴重な自然が残る保護すべき場所であると高い評価を受けている。

#### ②釧路湿原で起きている問題

- ・湿原や周辺地域で行われた住宅地の開発や農地造成によって、湿原の面積は過去 70 年で約 20% 減少した。また、それらの人間活動によって発生した湿原の乾燥化や、土砂の流入、水質悪化のほか、外来種の侵入やシカの増加による生態系への悪影響など、湿原の質の劣化が大きな問題になっている

#### ③自然再生事業の取り組み

- ・上述の問題から釧路湿原を守り、かつての姿に戻すために、地域住民、市民団体（NPO、NGO）、専門家、国、地方公共団体など様々な主体により構成される釧路湿原自然再生協議会が 2003 年に設立され、釧路湿原自然再生事業が始まった。
- ・自然再生事業では初めに、基本的な考え方や目標などを定めた釧路湿原自然再生全体構想（以後全体構想と表記）が作成された。全体構想では、対象を湿原を支える河川流域全体（約 25 万 ha）と定め、目標をこの地域に本来生息している生き物が生きていける環境、そし

て私たちの暮らしに豊かな恵みをもたらす環境とし、ラムサール条約登録前（1980年）の湿原環境の再生をイメージして取り組みを進めることとされた。

- ・上述の全体構想を実現するために必要な施策を行う6つの小委員会（再生普及・森林再生・土砂流入・旧川復元・水循環・湿原再生）が自然再生協議会の下に設立された。

#### ④自然再生の普及啓発・市民参加の取り組み

・全体構想では、目標を達成するための施策の一つとして自然再生の普及啓発・市民参加・環境教育の促進を行うことが明記されている。それらを実行、実現するために基本的な考え方や目標などを定めた「釧路湿原自然再生普及行動計画」（以後行動計画と表記）が策定され、2005年から5年間の計画として実施された。その後計画の見直しと改訂を経て、2010年からは「第2期 釧路湿原自然再生普及行動計画」が実施された。この行動計画では、目標として「釧路湿原を知る、楽しむ、学ぶ」、「自然再生に参加する、行動する」、「地域と関わり、人をつなぐ」が定められ、現在は「自然再生に参加する、行動する」に特に力を入れて推進している。

・上述の行動計画に沿った具体的な取り組みの一つに、自然再生と地域・市民とのネットワークを広げることを目的としたワンダグリンダ・プロジェクト（以後ワングリと表記）がある。ワングリは「釧路湿原と直接・間接的につながる」様々な取り組みを募集しており、第2期行動計画の3つの柱に合致すれば、誰でも（個人・団体・企業・学校など）参加可能な取り組みである。

・ワングリ事務局からは、希望者にワングリの各取り組みや自然再生に関する情報（ワングリ☆ニュース）を2週間に1回のペースで発信する取り組みを行っている。また、ワングリや自然再生事業の情報発信の手伝いをしてもらえる人や施設（ワンダグリンダ推進センター）などを募集し、商業施設や公共施設など42か所（2012年）が協力している。

・これまでの成果として、釧路湿原をとりまく多様な活動を情報として集約したことで、市民などが湿原に関わる際の間口を拡大できしたこと、フィールドだけではない活動や、特別な技能がなくてもできる活動が生まれたことなどが挙げられる。課題としては、内輪の取り組みから脱却しきれていないことや、市民の生活・経済活動につながる取り組みを増やす必要があること、ワングリに参加することによるメリットを更に創出する必要があることが挙げられる。

・上述の成果と課題を踏まえた上で、市民参加の機会づくりを増やすために、自然再生に「地域活性化」や「食」、「若者の出会いの場」などの新たな価値を加える工夫をした取り組み「釧路湿原の自然再生に参加しよう」イベントの実施や、ワングリを活用した環境教育や地域活性化に向けた共同プログラムの実施可能性の検討を行った。

- ・今後の自然再生では、まだ関係の薄い団体などへ働きかけを行うことや、異なった分野とのコラボレーションを試みること、釧路湿原の今を伝えるツールと企画を実施すること、市民参加促進のための体制づくりと担い手づくりを進めること、地域活性化に結びつけるための工夫をすることが欠かせないと考えている。

## 【2. 活動報告会概要】

### 1. サロベツ HANA マラソン

発表者：幌延ランニングクラブ 稲垣綱順氏

(質問) 私は浜頓別町で開催されている 100km マラソンに参加しているため、HANA マラソンにも参加したい。どうすれば参加できるか？

(回答) 是非、HANA マラソンにも参加していただきたいので、お知らせする。

(その他) 風光明媚な国立公園の中を走ることで、サロベツの自然の良さを体感できる。たくさんの方々が参加しやすいように距離設定などを考えて、来年も継続したい。

### 2. 夏はポニーの幌馬車、冬は馬ソリ！でサロベツを満喫！

発表者：東條恵太氏

(質問) 幌馬車を引くポニーは何頭なのか教えてほしい。

(回答) 今のところは 1 頭で、乗馬を行なう場合はこれから慣らしていくことを検討している。

(その他) アンケート結果を今後の活動に活かし、将来的には観光牧場を作れるよう頑張っていきたい。

### 3. サロベツを守ろう！「2013 サロベツ河川調査」

サロベツ今昔物語「やすじいの生きる道」

発表者（サロベツを守ろう！）：サロベツの今を見直す 100 の声の会 谷垣重遠氏

(その他) サロベツ川は釣り場もあり人々にとって親しみの川であり自然も多様に感じられる川である。一方で春は冠水する箇所があるため、酪農家にとっては苦しみの川にもなることから自然と酪農の共存に向け継続的に調査をしていきたい。

発表者（サロベツ今昔物語）：ノプの会 熊谷千恵子氏

(その他) 余剰分の収穫物を町民に無償提供できれば良い。

黒大豆を活用した商品開発についても今後検討していきたい。

### 4. サロベツの歌をうたってみよう

発表者：とんこり堂 稲垣順子氏

(その他) いつでも、どこでも、誰でも、すぐに歌える曲を作ったことにより、参加した方がいつでも口ずさむといった効果があった。また、歌詞にサロベツ原野で体験した印象的なことを盛り込んだことにより、是非行ってみたいといった感想があった。

## 5. セイコーマート「北海道牛乳」のふるさとを訪ねてみよう！

豊徳地区協議会 ごみのポイ捨て防止啓発活動

発表者（セイコーマートツアー）：豊富町役場農政課 岸谷明幸氏

（質問）参加した子ども達が地元の子ども達とも交流する機会を作ってほしい。

（回答）以前は交流を実施していた年もあったが、今後行うにあたって要望があれば企画計画の段階で検討し実施していきたい。

発表者（ごみのポイ捨て防止啓発活動）：豊富町役場農政課 佐々木仁氏

（その他）当日は小雨の降る中の活動だったが、訪れた方々に対して豊富牛乳を配り、酪農のPRができたことと、ゴミのポイ捨て防止メッセージが書かれたカードを手渡す啓発活動も同時に行なえた。

## 6. 上サロベツ農業情報マップ、上サロベツの自然と農業を学ぶパネル展

豊富中学校の総合学習への協力

発表者：稚内開発建設部 野地正昭氏

（質問）緩衝帯を設置することにより、湿原へのササの侵入を止められるといったことを次年度はもっと強調してPRしていけば良いと感じた。

（回答）ササの侵入を止められるのかは、まだ検証中のため、検証結果が出れば説明させていただきたい。

（その他）豊富中学校の総合学習への協力は今年で3年目を迎えた。エコモー・プロジェクトにも新規登録していただいたことから、次年度も継続して行なっていきたい。

## 7. 農村生活文化伝承活動をすすめる会

発表者：伝承の会 長尾氏

（その他）活動実施者の中には親の世代の方々も在籍しているが、皆同じ目標に向かって活動しているため、年代を感じさせない。

「伝承の会」の名称の通り、地域の文化を後世に引き継ぐことが目的のため、地域の若い世代を取り組むことが今後の課題である。

## 8. 押忍！我ら豊富町『カレー部』！

発表者：みさたろとゆかいな仲間たち&サロベツクッキングクラブ 田中美佐保氏

（その他）エコモー・プロジェクトと言うと、自然再生と関係した取組みのような何か難しい印象が強いが、サロベツを楽しもう！という、どんな小さな取組でも良いといったことを身を持って示していきたい。

## 9. サロベツ自然語講座、なまら!!サロベツ∞クラブ、外来種からサロベツを守ろう！

### 稚咲内砂丘林再生活動

発表者：NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク 吉原 努 氏

（質問）私もミズナラ苗木を育て植えているが、すぐ枯れてしまう。良い方法はないか。

（回答）稚咲内の砂丘林帯は、土壤が砂地であることから、植樹をしてうまく育たない。まず別の畑で苗木を3年～4年かけて育ててから植樹場所に移植すると活着率が高まる。

（質問）気になる身近な自然情報、目撃情報があれば隨時サロエコに伝えて良いか。

（回答）外来種の情報を含め、気になることがあれば是非隨時教えていただきたい。

## 10. サロベツ・エコモードDay、サロベツ・エコモードツアー、サロベツ自然観察会 木道ナイトハイク

発表者：環境省稚内自然保护官事務所 自然保護官 中島信人氏

（その他）エコモードDayでは、イベントを通して広く地域にエコモード・プロジェクトについて伝えることができ、さらにスタッフ同士の交流がとても深まる機会となった。



## 【2. 活動報告会のふりかえり】

①講演会について（気づいた点、参考になった点など…）

②活動報告会について（気づいた点、参考になった点など…）

③交流会全体について（運営面やその他気づいた点、次年度に向けてのアイディアなど…）

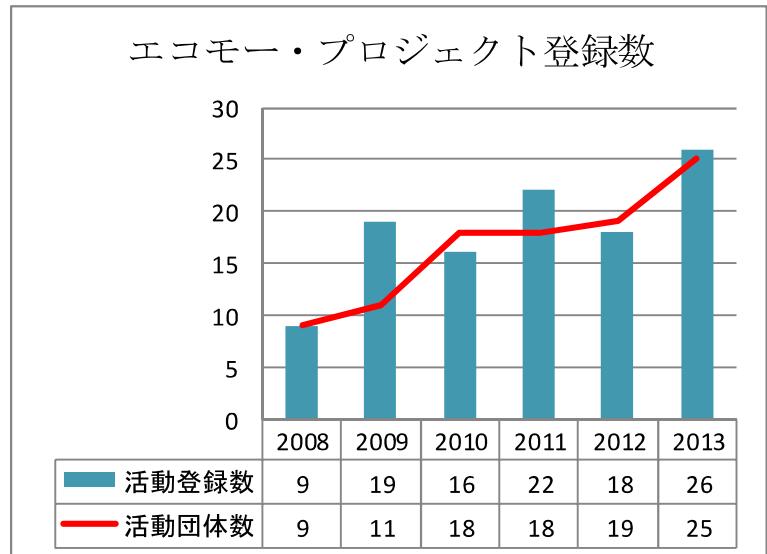
## ■エコモー☆サポーター活動のふりかえり

平成 25 年 方針と具体策		平成 25 年 成果と課題		平成 26 年 方針と具体策		
方針	エコモー・プロジェクトの輪を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー・プロジェクトの活動のメリットの一つとして、缶バッジを作製した。</li> <li>・事前の登録用紙を 1つにして分かりやすく改善し、パンフレットや活動報告集と形容することで、他のメリットもうまく生かせなかつた。</li> <li>・地域活動リストの専用 HPだけではなく、エコモー・プロジェクトの専用 HPだけではなく、来年はサロベツ湿原センターやエコモー・プロジェクトの告知掲示板をつくる等の工夫ができるよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー・プロジェクトの活動のメリットとしている缶バッジや活用が十分にできなかつた。など、他のメリットもうまく生かせなかつた。</li> <li>・また、リストに掲載した活動（ごみのポイ捨て防止啓発活動、サロベツ HANA マラソン）に E☆S が参加できることで、E☆S の度に、活動の告知と報告を行い、チラシやエコモーDay にて、エコモー・プロジェクト開催情報共有や互いの活動に参加することが出来た。</li> <li>・ホッキ祭やエコモーDay にて、エコモー・プロジェクトや自然再生事業の紹介ができる。</li> <li>・農業改良普及センター、豊富高校等のこれまでエコモー・プロジェクトに登録のなかつた団体に対し呼びかけを行い、新たに登録してもらうことができた。</li> <li>・昨年までは活動数が多く、活動をこなすだけ手一杯になる部分もあつたが、昨年からでは町民文化祭への出展を見送る等し、活動を終つたことと今年実施したホッキ祭、エコモーDay では 1つ1つの活動の効果を高められた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモーDay での展示に際しては、事前にスタッフ間でバネル等の内容を説明し合い、情報を共有するようになつた。</li> <li>・また、イベントでの役割分担もそれが担当を意識し、配置された役割で力を発揮していた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモーDay では、ただ展示するだけではなく、パネルの内容から答えるがわかるクイズラリーを実施したことで、来場者には楽しみながら自然再生の取り組みを知つてもらうことができた。</li> <li>・E☆S 活動実施要綱を定めたことによって、活動の目的や内容、事務局等が明確になり、1つ1つの活動に目的意識を持ちやすくなつた。</li> <li>・来場者数のカウントとアンケートを引き続き実施した。</li> <li>・エコモーDay では、クイズラリーとアンケートを一体化したことで、アンケートの回収数が大幅に増えた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモーDay で出前エコモー・プロジェクトを行い、ボニーの観馬車、オハワーラブによる観察会等の PR ができた。</li> <li>・從来の「活動報告会」という名称で行っていたイベントを「メンバー交流会」と改めたことで、本来の趣旨も伝わりやすく、参加しやすいものとなつた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会の中では、発表のあった活動に対し、他のメンバーから「来年は参加したい」という発言がある等、エコモー・メンバー間の交流を深めることができた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会では、昼食にカレー部のカレーを提供するなどし、より懇親を深めやすい雰囲気をつくることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー・プロジェクトの活動への参加や、エコモー・プロジェクトへの登録の呼びかけは、E☆S の事務局だけが行うのではなく、センターがより協力して実施できるよい。</li> <li>・必ずしも活動実施者にならなくとも（例、ホッキ祭りやエコモーDay でクイズラリーに参加したこと）、エコモー・プロジェクトに参加したことになるという点を上手く伝えられなかつた。</li> <li>・アンケートの結果を次の活動に生かさせていたがどうが不透明。来年は、アンケートの結果を具体的な改善に生かす工夫が必要。</li> <li>・例年以降は、自然再生の普及による地域の経済的なメリットや、地域活性化に向けたメリット（若者の出会い）等を創出できるよう検討できたらよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>
具体案	事務手続きについても改善すべき点があるか検討し、必要な改善を行なう	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・E☆S 会議の度に、活動の告知と報告を行い、チラシやエコモーDay にて、エコモー・プロジェクト開催情報を共有や互いの活動に参加することが出来た。</li> <li>・ホッキ祭やエコモーDay にて、エコモー・プロジェクトや自然再生事業の紹介ができる。</li> <li>・農業改良普及センター、豊富高校等のこれまでエコモー・プロジェクトに登録のなかつた団体に対し呼びかけを行い、新たな登録してもらうことができた。</li> <li>・昨年までは活動数が多く、活動をこなすだけ手一杯になる部分もあつたが、昨年からでは町民文化祭への出展を見送る等し、活動を終つたことと今年実施したホッキ祭、エコモーDay では 1つ1つの活動の効果を高められた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモーDay での展示に際しては、事前にスタッフ間でバネル等の内容を説明し合い、情報を共有するようになつた。</li> <li>・また、イベントでの役割分担もそれが担当を意識し、配置された役割で力を発揮していた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモーDay では、ただ展示するだけではなく、パネルの内容から答えるがわかるクイズラリーを実施したことで、来場者には楽しみながら自然再生の取り組みを知つてもらうことができた。</li> <li>・E☆S 活動実施要綱を定めたことによって、活動の目的や内容、事務局等が明確になり、1つ1つの活動に目的意識を持ちやすくなつた。</li> <li>・来場者数のカウントとアンケートを引き続き実施した。</li> <li>・エコモーDay では、クイズラリーとアンケートを一体化したことで、アンケートの回収数が大幅に増えた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモーDay で出前エコモー・プロジェクトを行ない、ボニーの観馬車、オハワーラブによる観察会等の PR ができた。</li> <li>・從来の「活動報告会」という名称で行っていたイベントを「メンバー交流会」と改めたことで、本来の趣旨も伝わりやすく、参加しやすいものとなつた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会の中では、発表のあった活動に対し、他のメンバーから「来年は参加したい」という発言がある等、エコモー・メンバー間の交流を深めることができた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会では、昼食にカレー部のカレーを提供するなどし、より懇親を深めやすい雰囲気をつくることができた。</li> </ul>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>		
具体案	エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー☆メンバー同士が体感を開催し、メンバー同士が体感を持つれる</li> <li>・エコモー☆メンバー交流会以外でも、活動を紹介する場を持つれる</li> <li>・エコモー☆メンバー交流会では楽しいアイディアが広がるような企画を検討する</li> </ul>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>		
具体案	エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する</li> <li>・エコモー☆メンバーが体感を持つれる</li> <li>・エコモー☆メンバー交流会以外でも、活動を紹介する場を持つれる</li> <li>・エコモー☆メンバー交流会では楽しいアイディアが広がるような企画を検討する</li> </ul>	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針</li> </ul>		

## サロベツ・エコモー・プロジェクトのふりかえり

### 【1. 登録数の推移】

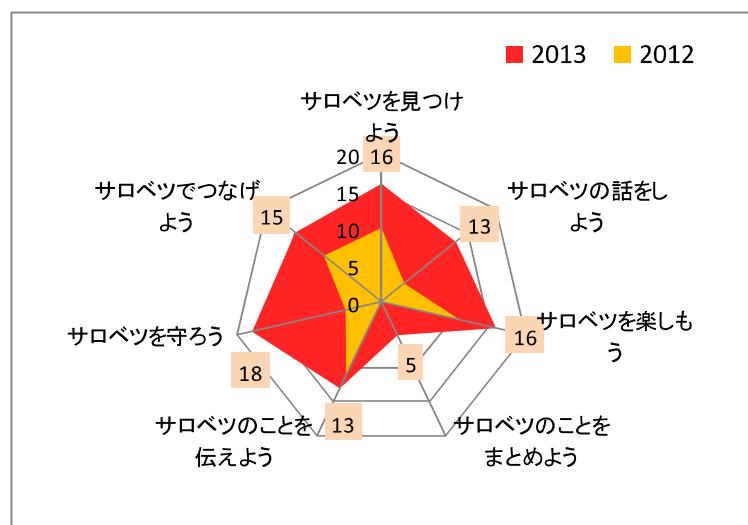
今年の登録数は26活動と過去5年間で最も多かった。理由としては、地域の各団体とのつながりが確立できたと言える。例えば、伝承の会、4Hクラブ、豊富中学校、豊富高校に新規登録していただいたことが挙げられる。今後もエコモープロジェクトの輪を広げるために、センター自ら地域の各行事に参加し、つながりを作つて



※今年の各活動詳細については、【資料 3-3 サロベツ・エコモー・プロジェクト 2013 活動リスト】に記載している。

### 【2. サロベツ文化づくりのための 7 つの行動について】

サロベツを見つけよう	16
サロベツの話をしよう	13
サロベツを楽しもう	16
サロベツのことをまとめよう	5
サロベツのことを伝えよう	13
サロベツを守ろう	18
サロベツでつなげよう	15



今年、7つの行動の中で今年最も該当数が多かったのは、「サロベツを見つけよう」・「楽しもう」・「守ろう」の3つであった。昨年の活動と比較してみると、今年は活動数が増えたため、全体的に幅が広がっているが、特に「サロベツを守ろう」の該当数が増えたことが分かった。活動実施者の中で地域の自然を守っていくという意識が高まってきたことを考察できた。

**サロベツ・エコモープロジェクト2013 活動リスト**

資料3-3

番号	活動名	実施者	日時・場所	活動内容	見つけよう	話をしよう	楽しもう	まとめよう	つなげよう	伝えよう	守ろう
1	上サロベツの自然と農業を学ぶパネル展	稚内開発建設部農業開発課、土地改良情報対策官、稚内農業事務所	通年・サロベツ湿原センター、7月・豊富ホックまつり、10月・エコモーDay	農業と自然の再生を目指す上サロベツ地域の取組や農業の振興に関する地域情報を紹介するパネル展を開催した。					○		
2	上サロベツ農業情報マップ	稚内開発建設部農業開発課・土地改良情報対策官、豊富町(農政課)	通年	上サロベツ地域の農業情報を紹介する「上サロベツ農業情報マップ」を役場・観光情報センター等の公共施設と記者掲載団体に置き、町民や来町者等に情報提供を行った。					○		
3	サロベツHANAマラソン2013	幌延ランニングクラブ	7月6日(土)	サロベツに咲くエゾカンゾウや野鳥の鳴りを耳にしながら、サロベツ原野を走るマラソン企画。	○		○		○		
4	サロベツ今昔物語	ノブの会	未定	サロベツ原野の開拓の歴史と実状を把握し、文章化して記録を残します。	○	○		○	○	○	○
5	湿原を流れる サロベツ川を知る	サロベツの今を見直す100の声の会	7月7日 8月末定 9月末定	サロベツ川の渓流部から下流域まで調査し、郷土の川であるサロベツ川を酪農家の視点で考えます。	○	○		○	○	○	○
6	「なまら！！ サロベツ∞クラブ～次世代環境リーダー育成事業～	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	5月～3月まで月1～2回程度実施	小中学生を対象に四季を通じてサロベツ原野の保全に関わる活動を実施し、地域の素晴らしさを伝えることで、人・地域・自然への愛着を深め、将来的にサロベツはもとより、幅広い場で活躍できる次世代の環境リーダーを養成するための基盤を作ります。	○	○	○	○	○	○	○
7	サロベツ自然講座	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	5月～2月まで月1回程度実施	平成19年度から継続して実施している連続講座です。この講座は、地域のみなさんやサロベツを訪れた方に、サロベツの自然や歴史の魅力を屋内の講義とフィールドでの体験を通して再発見してもらい、それを他の人に伝えることのできる人材となつてもらよう企画したもので。	○	○	○			○	
8	稚咲内砂丘林再生プロジェクト	NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	【5月～10月】苗畑・柵内維持管理【11月2日(土)】苗木植樹イベント	国立公園内の特別保護地区の稚咲内砂丘林(町有林)において、無立木化した約3ha土地に現砂丘林帯と同構造のミズナラ・イタヤカエデの植樹をする森林再生プロジェクトです。	○		○		○	○	○
9	サロベツ自然観察会	利尻礼文サロベツ国立公園バーカボランティアの会、稚内自然保护官事務所	6月9日(日) 8月11日(日) サロベツ湿原センター	湿原の花が咲くサロベツ湿原センターの木道の内周と外周を散策しながら、植物の芽吹きやつぼみ、花のほか、植物の香りや、鳥のさえずりなどを観察しました。	○	○	○			○	
10	木道ナイトハイク	利尻礼文サロベツ国立公園バーカボランティアの会、稚内自然保护官事務所	2013年7月19日(日) 幌延町下沼法昌寺 パンケ沼園地	幌延町下沼にあるパンケ沼園地にて、動物写真家の富士元寿彦さんに解説をいただきながら、パンケ沼沿いの木道を歩き、ヘイケボタルや夜に舞うアオサギの姿、星空を観察しました。	○		○		○		○
11	ごみのポイ捨て防止啓発活動	豊徳地区協議会	5月4日 サロベツ湿原センター前駐車場	2010年に始めた活動で、今年で4回目となります。この活動は、自分たちで撮影したサロベツの美しい風景写真に、手描きの牛のイラストや、ごみのポイ捨て防止を呼び掛けるメッセージを書いたカードを作成し、湿原センターに訪れた方に、このメッセージカードと豊富牛乳を手渡して啓発を行なっているものです。						○	○
12	豊富中学校の総合学習への協力	稚内開発建設部稚内自然保護官事務所 NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク	7月3日 サロベツ湿原センター落合地区緩衝帯	「サロベツの自然と農業、それらをつなぐ自然再生事業」をテーマとして、地域の将来を担う生徒達に地域農業や自然環境について理解を深めてもらうことを目的として、サロベツ湿原センター及び自然再生事業を進めている国営総合農地防災事業サロベツ地区的緩衝帯(落合緩衝帯)を会場として開催しました。	○		○			○	
13	サロベツの歌をうたってみよう	とんこり堂	2013年、夏～秋 サロベツ原野、木道法昌寺	サロベツで心動かされる風景や事象に出会い「〇〇も連れてくればよかつたなあ」「〇〇に見せたてあげたい」となどの声が聞かれましたが、よくありました。そのような気持ちを歌にし、様々な方々と歌いました。歌はサロベツのPRになりました。		○	○		○	○	
14	サロベツ・エコモーDay	稚内自然保护官事務所	10月14日(月) サロベツ湿原センター	湿原と農業の共生を目指したサロベツ自然再生事業を、地域の方により身近に感じていただくため、サロベツ・エコモーDayを開催しました。「サロベツを食べよう」秋の木道観察会」「牧草ロールの展示」「農業機械に乗ってみよう」「浚渫船に乗ってみよう」「ボニーの幌馬車」「自然再生パネル展＆クリスマスリー」「エコモー交流会」といった各種イベントを行いました。	○	○	○		○	○	○
15	サロベツ・エコモー・ツアード	稚内自然保护官事務所	9月28日(土) 10月19日(土)	地域の方々や、広く一般の方々にサロベツ自然再生事業を知っていただきため、自然再生事業への見学ツアーを開催しました。普段は立ち入れない調査用の木道を通り、「落合沼」「泥炭採掘跡地」で環境省が行っている自然再生事業の内容やその成果などを紹介しました。また、現在もサロベツで泥炭を採掘し、土壤改良材を生産している「日甜豊富工場」も見学させていただきました。	○	○	○			○	○
16	サロベツ学会2013年度総会	サロベツ学会	2013年11月2日(土) 法昌寺	学会の総会(事業報告、会計報告、次年度事業計画と会計報告、活動報告)	○	○	○	○	○	○	○

番号	活動名	実施者	日時・場所	活動内容	見つけよう	話さしよう	楽しもう	まとめよう	つなげよう	伝えよう	守ろう
17	サロベツの春を探そう観察会 サロベツ・エコモーDay木道観察会	オハバワー俱乐部	4月29日(日) 10月14日(日) サロベツ湿原センター	サロベツ湿原センターの木道で春と秋に自然観察を行ない、それぞれの季節の魅力を参加者と共に探す活動を行ないました。	○	○	○				○
18	サロベツ湿原も牧草地も美しい！	豊富町4Hクラブ	5月1日,9月9日 豊富町豊徳地区	春と秋にサロベツ湿原を通る道々稚咲内豊富停車場線の清掃活動を行いました。							○
19	外来種からサロベツを守ろう！	NPO法人サロベツ・エコネットワーク 利尻礼文サロベツパークボランティアの会 豊富部会	5月26日 豊徳地区(開運橋) 10月20日 サロベツ湿原センター	原生の大自然を誇るサロベツ原野においても、多くの外来種が侵入しています。今年度もこれまで同様に、湿原の生態系に影響を与える植物である、オオハンゴンソウ及びブナの除去を春・秋の2回の除去イベントを行いました。							○
20	顔出しパネル	JA北宗谷青年部	通年 サロベツ湿原センター	豊富支部部員(総数54名)により、顔出しパネルを作成ビジターセンター内に設置来場客の記念と、基幹産業である酪農のPRと牛乳の消費拡大を啓発しました。					○		
21	サロベツサブレンジャー	北大植物同好会	7月～9月 サロベツ湿原センター 幌延ビジターセンター	自然保護官(レンジャー)の補佐として、観光客向けの自然観察ガイドや湿原センター内の展示物製作等の業務を中心に、サロベツ子供キャンプのお手伝いや外来植物の駆除などを行いました。例年、活動は湿原センターを中心に行なっていましたが、今年は幌延町のビジターセンターでも活動を行い、展示物の作成などを行いました。活動期間中は、地域の行事にも積極的に参加しました。	○	○	○	○	○	○	○
22	夏はボニーの幌馬車、冬は馬ソリ! でサロベツを満喫	東條信雄・恵太	1月～10月 サロベツ湿原センター 温泉、自然公園など	夏は幌馬車、冬は馬ソリの体験乗車を行い、大変好評だった。 1月:12人 2月:80人 3月:11人 7月:250人 8月:18人 10月:77人 ⇒合計 448人(昨年実績250人)	○	○	○		○	○	○
23	押忍!我ら豊富町『カレー部』!	みさらとゆかいな仲間たち & サロベツクッキングクラブ	2月2日・5月3日・ 10月25日・11月23日 サロベツにちなんだ某所 & サロベツ湿原センター	サロベツの食材を活用したカレーの研究を実施し、今年は特に山菜を用いたカレーにチャレンジしました。	○	○	○				
24	農村生活文化伝承展	農村生活文化伝承活動をすめる会	10月26日～27日 豊富町民センター	農村生活文化伝承活動をすめる会は、農村生活文化伝承展で地場産品の野菜を提供する農産物即売ブース(野菜類・豆類)や手芸コーナーなど様々な商品の展示・販売をし、町内外の多くの消費者と毎年、交流を深めています。豊富町内に自生しているイダオリを収穫・貯蔵・加工し、豊富ならではの食文化を伝承しています。	○		○		○	○	
25	稚咲内海岸清掃全校ボランティア	北海道豊富高等学校	5月8日 稚咲内海岸	全校生徒84名が手分けして稚咲内海岸のゴミ拾いを行いました。道路脇のゴミについてはある程度回収できましたが、漂流物は拾っても拾ってもきりがなく、定期的なごみ拾いが必要を感じました。							○
26	豊富町地域PR活動	北海道豊富高等学校	9月24日 京都駅	豊富町の観光大使として任命された本校2年生(34名)が、見学旅行先で豊富町に関するパンフレットを配布し、地域PRを行いました。						○	

## 第15回 エコモー☆サポーター会議

日 時：平成26年1月29日  
時 間：18:00～19:30  
場 所：定住支援センター

### 開 会

#### 1. 【報告】

- 第14回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり (資料1)

#### 2. 【議題】

- 年間スケジュールについて (資料2)
- 平成26年度のエコモー☆サポーター活動について (資料3)
  - 平成26年度の活動方針と具体策

#### 3. 活動報告と告知

#### 4. その他

### 閉 会

## 第14回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり

### 開催概要

日 時：平成25年12月11日（木）18:00～19:30

場 所：豊富町役場 2階会議室

出席者：進藤哲、田中美佐保、西島今朝悟、嶋崎暁啓・吉原努（NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク）、野地正昭（稚内開発建設部）、坂井渉（豊富森林事務所）、中島信人・山上佳祐（稚内自然保護官事務所）、佐藤公一（宗谷総合振興局）、大須賀浩（豊富町）

### 議事概要

#### 1. 第13回エコモー☆サポーター会議ふりかえり（資料1）

事務局から資料を基に前回会議の内容について説明。

#### 2. サロベツ・エコモー・メンバー交流会のふりかえり（資料2）

事務局から資料を基に講演概要と活動報告会の概要について説明し、項目ごとに気付いた点などを挙げ、ふりかえりを行った。

##### ① 交流会全体について

- ・地域の酪農について知る機会を作る。
- ・一般町民の方が気軽に参加できる交流会を目指す。
- ・開催場所は定住支援センターにしてはどうか。
- ・懇親会の前で帰ってしまった人がいたので、時間配分や内容を改めて考える必要がある。

##### ② 講演会について

- ・釧路とは規模が違うので身の丈にあった活動を行っていけば良い。
- ・サロベツ・エコモーDAY や交流会形式の発表の場があることなどを含めて、サロベツの取組の良さを再認識することができた。
- ・学校のカリキュラムの中で自然再生に関わる活動を取り入れ、自然再生事業がより身近な活動として感じられるようにしていきたい。
- ・次年度は獣医さんや酪農ヘルパーさんを招き違う視点で講演していただけると良い。

### ③ 活動報告会について

- ・昨年より発表者が増えたのは良かった。
  - ・様々な発表を聞けたので新たな考えを知る良い機会となった。
  - ・地域の方々が発表できる機会を作るために、早めの周知が必要である。
- (4Hクラブ、高校生など…)

### 3.エコモー☆サポーター活動のふりかえり（資料3-1）

事務局から資料を基に平成25年度の成果と課題について説明。挙げられた意見については下記の通りとなっている。

- ・ホームページを改善し、登録しやすいよう工夫する。
- ・町内の各所に告知掲示板を作る。
- ・E☆S個人のネットワークをもっと活かす。
- ・プロジェクト自体の知名度を向上させるためにロゴを改善する。

### 4.サロベツ・エコモー・プロジェクトのふりかえり（資料3-2）

事務局から資料を基に活動登録数の推移とサロベツ文化づくりのための7つの行動の該当数について説明。レーダーチャートを整理してはどうかというご指摘があり、注意書きを書き加えることで了承された。

### 5.活動報告と告知

事務局から今後の予定について説明

⇒（サロエコ）・12/21 鳥の巣箱作り＆お餅つき大会 告知

### 6.その他

⇒次回の会議は1月29日（水）

## エコモー☆サポートー 年間スケジュール

資料2

- ①エコモー・プロジェクトの輪を広げる
- ◆地域活動リストの更新を行ないながら活用し、地域の行事に参加してつながりをつくる。
  - ◆サロベツ・エコモー・プロジェクトに参加しやすくなるよう工夫して活動する。

- ②活動ごとの効果を高める
- ◆普及活動行動計画により意識した活動を行う。
  - ◆自然再生PR活動の来訪者数にアンケートに答えていただける工夫をし、活動の効果を高める。

H25年度  
方針

- ③エコモー☆メンバーハーの交流がより深まるよう工夫する
- ◆エコモー☆メンバー交流会を開催し、メンバーハー回士が体感を持てるようする
  - ◆エコモー☆メンバーハー交流会以外でも、活動を紹介できる場をつくる
  - ◆エコモー☆メンバーハー交流会では楽しいアイデアが広がるよう企画を検討する
  - ◆事務手続きについても改善すべき点があるか検討し、必要な改善を行つ

		H25年度						H26年度					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
会議	会議日程	・年間計画の ふりかえり ・26万針 目標 ・年間予定確定 ・具体的な検討	第14回 再生普及部会	月1回程度開催									
エコモー☆サポートー活動	サロベツ・ エコモー・ プロジェクト			随时活動募集・受付									
自然再生PR									ホッキ祭り				
他団体との 連携強化								随時地域活動のリスト更新・参加					
研修									環境学習ツアーナビに参加				

## ■エコモー☆サポーター活動のふりかえり

平成 25 年 方針と具体策		平成 25 年 成果と課題		平成 26 年 方針と具体策	
方針	エコモー・プロジェクトの輪を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー・プロジェクトの活動のメリットの一つとして、街バッヂを製作した。</li> <li>・事前・事後の郵便用紙を1つにして分かりやすく改善し、パンフレットや活動報告集と併用することでPR活動が行いやすくなった。</li> <li>・地域活動リストの更新を行なった。</li> <li>・地域活動リストや地域の行事に参加してつながりをつくる</li> <li>・サロベツ・エコモー・プロジェクトに参加しやすくなるよう工夫して活動する。</li> <li>・事務手続きについても改善すべき点があるか検討し、必要な改革を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー・プロジェクトの活動のメリットとしている街バッヂの配布や活用が十分にできなかつた。また、エコモー・プロジェクトHP の活用など、その他のメリットもうまく生かせなかつた。</li> <li>・エコモー・プロジェクトの専用 HPだけではなく、来年はサロベツ温泉センター等にエコモー・プロジェクトの告知掲示板をつくる等の工夫ができるよい。</li> <li>・リストに掲載した地域活動への参加や、エコモー・プロジェクトへの登録の呼びかけは、E☆Sの事務局だけが行うのではなく、サポート者がより協力して実施できることよい。</li> <li>・必ずしも活動実施者にならなくても、(例:ホッキ祭りやエコモードayでタイズラリーに参加することなど)、エコモー・プロジェクトに参加したことになるという点を上手く伝えきれなかつた。</li> <li>・アンケートの結果を次の活動に生かさせていたかどりが不明。来年は、アンケートの結果を具体的に生かす工夫が必要。</li> <li>・来年以降は、自然再生の普及による地域の経済的なメリットや、地域活性化に向けたメリット(若者の出会い)等を創出できるよう検討できたらよい。</li> </ul>	方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコモー・プロジェクトの交流を深めよう！</li> <li>○効果的にホームページを活用する</li> <li>○町内の各掲示板の活用し周知する</li> <li>○缶バッジ・ロゴの配布し活用する</li> <li>○地域活動リストを作成し活用する</li> <li>○地域団体への呼びかけを強化し、連携した取り組みを行う</li> <li>○ホッキ祭りやエコモードayで運営協力・開催する</li> <li>○メンバーや交流会の開催・交流する</li> </ul>
具体案	活動ごとの効果を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・E☆S会議の際に、活動の告知と報告を行い、サポート一間で情報共有や互いの活動に参加することが出来た。</li> <li>・ホッキ祭りやエコモードayにて、エコモー・プロジェクト農業改良普及センター、豊富高校等のこれまでエコモー・プロジェクトに登録のなかつた団体に対し呼びかけを行なった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年までは活動数が多く、活動をこなすだけで手一杯になる部分もありましたが、昨年からは町民文化祭への出展を見送る等少し、活動を終つたことで今年実施したホッキ祭、エコモードayでは1つ1つの活動の効果を高められた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモードayでの展示に際しては、事前にスタッフ間でバネル等の内容を説明し合い、情報を共有する等の工夫がなされたこと、来場者に対するわかりやすい説明ができるようになった。</li> <li>・また、イベントでの役割分担もそれぞれが担当を意識し、配置された役割で力を発揮していました。</li> <li>・ホッキ祭、エコモードayでは、ただ展示するだけではなく、ハネルの内容から答えるがわかるタイズラリーを実施したことで、来場者は楽しめた。</li> <li>・E☆S活動実施要綱を定めることによって、活動の目的や意義を持ちやすくなつた。</li> <li>・来場者数のカウントとアンケートを引き続き実施した。</li> <li>・エコモードayでは、タイズラリーとアンケートを一体化したことで、アンケートの回収数が大幅に増えた。</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果を次の活動に生かさせていたかどりが不明。来年は、アンケートの結果を具体的に生かす工夫が必要。</li> <li>・来年以降は、自然再生の普及による地域の経済的なメリットや、地域活性化に向けたメリット(若者の出会い)等を創出できるよう検討できたらよい。</li> </ul>
方針	普及活動行動計画をより意識した活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然再生 PR活動の来訪者数にアンケートにて回答して、活動の効果を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年までは活動数が多く、活動をこなすだけで手一杯になる部分もありましたが、昨年からは町民文化祭への出展を見送る等少し、活動を終つたことで今年実施したホッキ祭、エコモードayでは1つ1つの活動の効果を高められた。</li> <li>・ホッキ祭、エコモードayでの展示に際しては、事前にスタッフ間でバネル等の内容を説明し合い、情報を共有する等の工夫がなされたこと、来場者に対するわかりやすい説明ができるようになった。</li> <li>・また、イベントでの役割分担もそれぞれが担当を意識し、配置された役割で力を発揮していました。</li> <li>・ホッキ祭、エコモードayでは、ただ展示するだけではなく、ハネルの内容から答えるがわかるタイズラリーを実施したことで、来場者は楽しめた。</li> <li>・E☆S活動実施要綱を定めることによって、活動の目的や意義を持ちやすくなつた。</li> <li>・来場者数のカウントとアンケートを引き続き実施した。</li> <li>・エコモードayでは、タイズラリーとアンケートを一体化したことで、アンケートの回収数が大幅に増えた。</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホッキ祭、エコモードayで出前エコモー・プロジェクトを行なう、ボニーの馳馬車、オババーグラブによる観察会等のPRができた。</li> <li>・従来の「活動報告会」という名前で行っていたイベントを「メンバーや交流会」と改めたことで、本来の趣旨も伝わりやすく、参加しやすいものとなつた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会の中では、発表のあつた話題に於し、他のメンバーから「来年は参加したい」といふ言葉があがれた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会では、昼食にカレー部のカレーを提供するなどし、より懇親を深めやすい雰囲気をつくることができた。</li> </ul>
具体案	エコモー☆メンバーや交流会がより深まるよう工夫する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコモー☆メンバーや交流会を開催し、メンバーや向士が体感を持ってるようにする</li> <li>・エコモー☆メンバーや交流会以外でも、活動を紹介できる場をつくる</li> <li>・エコモー☆メンバーや交流会では楽しいアイデアが広がるような企画を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホッキ祭、エコモードayで出前エコモー・プロジェクトによる観察会等のPRができた。</li> <li>・従来の「活動報告会」という名前で行っていたイベントを「メンバーや交流会」と改めたことで、本来の趣旨も伝わりやすく、参加しやすいものとなつた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会の中では、発表のあつた話題に於し、他のメンバーから「来年は参加したい」といふ言葉があがれた。</li> <li>・エコモー・メンバー・交流会では、昼食にカレー部のカレーを提供するなどし、より懇親を深めやすい雰囲気をつくことができた。</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホッキ祭りやエコモードay、メンバー交流会では互いの活動日程を知つたり、交流する機会が増えたが、イベント以外の場(日常的な活動の中)では、そのような情報交流の機会を提供できていない。</li> </ul>

## 上サロベツ自然再生協議会 第14回再生普及部会

日 時：平成26年3月6日  
時 間：13:30～14:30  
場 所：定住支援センター

### 1. 開 会

### 2. 【報告】

○平成25年度 普及活動の結果について (資料1)

### 3. 【議題】

○平成26年度 普及活動の進め方について (資料2)

### 4. その他

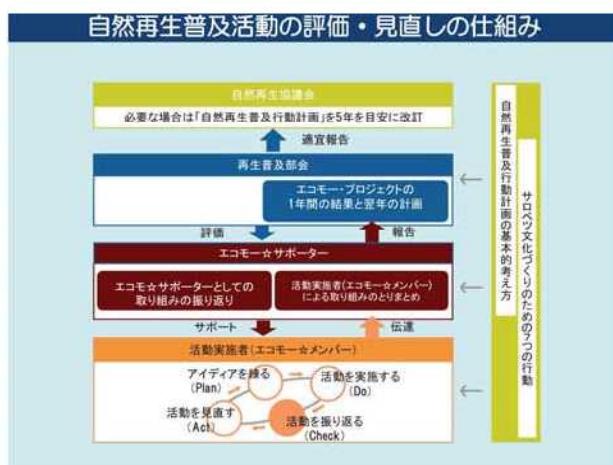
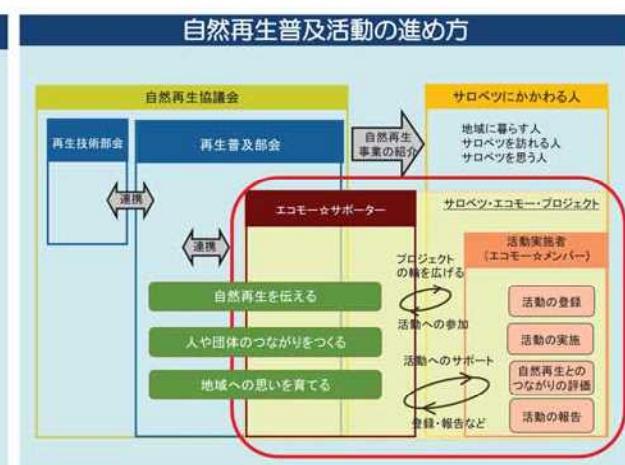
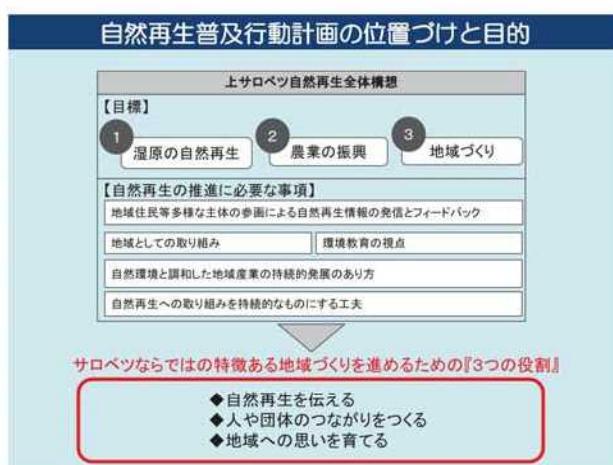
### 5. 閉 会

## 平成25年 普及活動の結果について



平成26年3月6日  
上サロベツ自然再生協議会 第14回再生普及部会

### (1) 自然再生普及活動の進め方について



### (2) 平成25年の自然再生普及活動のふりかえり

## サロベツ・エコモー・プロジェクト2013活動の様子



①上知の自然と農業を学ぶパネル



②上サロベツ農業情報マップ



③サロベツHANAマラソン



④サロベツ今昔物語



⑤サロベツを守ろう



⑥なまら!!サロベツ∞クラブ



⑦サロベツ自然語講座



⑧稚咲内砂丘林再生プロジェクト



⑨サロベツ自然観察会



⑩サロベツ木道ナイトハイク



⑪ゴミのポイ捨て防止啓発活動



⑫豊富中学校の総合学習への協力



⑬サロベツの歌をうたってみよう



⑭サロベツ・エコモーDay



⑮サロベツ・エコモー・ツアー



⑯サロベツ学会2013年度総会



⑰サロベツの春を探そう観察会 他



⑱サロベツ湿原も牧草地も美しく!



⑲外來種からサロベツをまもろう!  
(オオハンゴンソウの除去)



⑳顔出しパネル



㉑サロベツサブレンジャー



㉒ボニーの幌馬車・馬ソリ



㉓押忍!我ら豊富町『カレー部』!



㉔農村生活文化伝承展



香椎浜内海岸清掃全般ボランティア



豊富町地域PR活動



④サロベツ木道マップ



⑤かせいじんのサロベツ折り紙工房



⑥セイコーマート！北海道豊富牛乳の故郷を訪ねてみよう



⑦サロベツ年賀状シリーズ（消しゴムはんこ）

活動数（参加団体）

平成20年	9活動（9団体）
平成21年	19活動（11団体）
平成22年	16活動（18団体）
平成23年	22活動（18団体）
平成24年	17活動（15団体）
平成25年	30活動（28団体）

多くの方が色々な分野で  
サロベツに関わるようになっている

活動分野（7つの行動より）※複数回答

	2012	2013
サロベツを見つけよう	10	18
サロベツの話をしよう	4	11
サロベツを楽しもう	11	19
サロベツのことをまとめよう	0	4
サロベツのことを伝えよう	11	18
サロベツを守ろう	5	12
サロベツにつなげよう	10	11

### エコモー☆サポーターの活動のふりかえり



エコモー☆サポーター会議の様子



サロベツ・エコモー・プロジェクト活動報告会の開催



ホッキ祭りでの自然再生PR活動



サロベツ・エコモーDayでの自然再生PR活動

### 年間活動方針からみた振り返り① エコモー・プロジェクトの輪を広げる

取り組み① 地域活動リストの活用

実施日	実施場所	行路名	主担当	連絡先	概要		サロベツ・エコモー・プロジェクト	実績
					2012	2013		
平成25年1月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年2月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年3月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年4月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年5月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年6月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年7月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年8月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年9月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年10月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年11月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○
平成25年12月	新琴似地区	新琴似地区総合防災避難訓練	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	新琴似地区総合防災避難訓練実行委員会	○	○	○	○

リストを活用して  
エコモー☆サポーターが  
地域活動に参加すること  
ができた



コミュニティ施工防止啓発活動



サロベツHANAマラソン

### 年間活動方針からみた振り返り② エコモー・プロジェクトの輪を広げる

取り組み② 各種イベントで活動の紹介



ホッキ祭りでの自然再生PR活動



サロベツ・エコモーDayでの自然再生PR活動

2つのイベントで、のべ535人の来場があり、  
自然再生をPRすることができた

### 年間活動方針からみた振り返り③ エコモー・プロジェクトの輪を広げる

取り組み③ メンバーバッジの製作

取り組み④ 事前・事後の登録用紙  
を1つに改善



エコモー☆メンバーバッジ



登録用紙シート

エコモー☆メンバーの輪を  
バッジを配ることで広げた

書類を簡略化し、  
登録しやすくすることができた

資料-89

## 年間活動方針からみた振り返り① エコモー・プロジェクトの輪を広げる

### 課題

- メンバーバッジの配布や活用が十分にできなかった
- ホームページの活用などのメリットを生かせなかった
- イベントの来場者からは、興味はあるが活動に参加することは難しいとの意見があった

### 今後に向けて

- メンバーバッジ積極的に配布する
- ホームページや町内の施設の告知掲示板を積極的に活用する
- 活動に参加することだけでなく、農業の話をする、自然の話をするなど、多様な関わり方があることをPRする

## 年間活動方針からみた振り返り② 活動ごとの効果を高める

### 取り組み① エコモー☆サポーター 活動実施要綱の策定



### 取り組み② イベント時のスタッフ間の 情報共有・役割分担の明確化



- - ・活動の目的や役割分担が明確になり、目的意識を持って取り組めるようになった。
  - ・スタッフがそれぞれの役割で力を発揮できるようになった。

## 年間活動方針からみた振り返り② 活動ごとの効果を高める

### 取り組み③ パネルの内容を題材にしたクイズラリーを実施 クイズラリーとアンケートを一体化して実施



クイズラリーの様子

- - ・クイズラリーによって、楽しみながら自然再生を知ってもらえるようになった。
  - ・アンケートと一緒にすることで回収率を上げることができた。

## 年間活動方針からみた振り返り② 活動ごとの効果を高める

### 課題

- アンケート結果を次の活動に生かし切れていない
- 活動ごとふりかえりが単発的になりがち
- 自然再生普及の地域メリットの創出に至っていない

### 今後に向けて

- アンケート結果を分析し、次の活動に生かす
- 自然再生の取り組みによる地域経済の活性化など、地域のメリットになることを検討し、持続的な自然再生の仕組みづくりを目指す

## 年間活動方針からみた振り返り③ エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する

### 取り組み① エコモー☆メンバー交流会の実施



- 従来の「活動報告会」を「メンバー交流会」と改め、昼食にカレーを提供するなどし、懇親を深めやすい雰囲気をつくることができた

## 年間活動方針からみた振り返り③ エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する

### 取り組み② 出前エコモーの実施



ホッキ祭りでの  
ベンケ活動ヌー清掃の紹介



エコモーDayでの  
ボニーの幌馬車の紹介

- ホッキ祭、エコモーDayなどのイベントで  
エコモー☆メンバーの活動を紹介することができた

### 年間活動方針からみた振り返り③

#### エコモー☆メンバーの交流がより深まるよう工夫する

##### 課題

- メンバーの交流等による連帯感が伝えきれていなかった
- メンバー同士が交流する機会は増えたが、イベント以外の情報交換・交流の機会が作れていなかった

##### 今後に向けて

- エコモー☆メンバー交流会は継続して実施しながら、イベント以外の交流の場を提供する

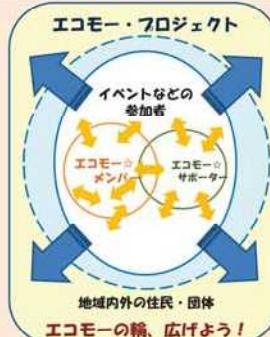
## 平成26年 普及活動の進め方について



平成26年3月6日  
上サロベツ自然再生協議会 第14回再生普及部会

方針

エコモー☆メンバーの交流を深め、  
エコモー・プロジェクトの輪を広げよう！！



### 具体策

- ①地域団体への呼びかけを強化し、連携した取組を行う
- ②地域活動リストの充実を図る
- ③ホッキ祭やエコモーDayを開催する
- ④エコモー☆メンバー交流会を開催する
- ⑤ホームページを効果的に活用する
- ⑥町内の掲示板を効果的に活用する
- ⑦メンバー缶バッジを積極的に配布する



エコモー☆メンバー交流会



改訂予定のホームページ

### 平成26年のエコモー☆サポーター年間計画

- ①エコモー☆サポーター会議の開催
- ②活動の随時募集と受付、エコモー☆メンバー交流会の開催
- ③ホッキ祭、エコモーDayでの自然再生PR活動の実施
- ④地域活動リストの作成・地域活動への参加
- ⑤環境学習ツアーなどの参加

	H25	H26年度											
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議	会議日程	月1回程度開催											
エコモー☆サポーター活動	サロベツ・エコモー・プロジェクト	随時活動募集・受付											
	自然再生PR						ホッキ 祭り						
	他団体との連携強化	随時地域活動リストの更新・参加											
	研修	環境学習ツアーなどに参加											

## 第16回 エコモー☆ソポーター会議

日 時：平成26年3月14日  
時 間：18:00～19:30  
場 所：定住支援センター

### 開 会

#### 1. 【報告】

- 第15回 エコモー☆ソポーター会議のふりかえり (資料1)
- 上サロベツ自然再生協議会 第14回再生普及部会について (資料2)

#### 2. 【議題】

- 平成26年度年間スケジュールについて (資料3)
  - 事務局とエコモー・メンバーの役割分担について

#### 3. 活動報告と告知

#### 4. その他

### 閉 会

## 第 15 回 エコモー☆サポーター会議のふりかえり

### 開催概要

日 時：平成 25 年 1 月 29 日（木）18：00～19：30

場 所：定住支援センター

出席者：田中美佐保、西島今朝悟、吉原努(NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク)、野地正昭(稚内開発建設部)、山上佳祐(稚内自然保護官事務所)、大須賀浩(豊富町)  
山形雅弘

### 議事概要

#### 1. 第 14 回エコモー☆サポーター会議ふりかえり（資料 1）

事務局から資料を基に前回会議の内容について説明。

#### 2. 年間スケジュールについて（資料 2）

事務局から資料を基に内容を説明。

#### 3. 平成 26 年度のエコモー☆サポーター活動について（資料 3）

事務局から資料を基に平成 26 年度の活動方針と具体策について説明。挙げられた意見については下記の通りとなっている。

- ・平成 25 年度の成果と課題、平成 26 年度の方針と具体策については了承
- ・平成 26 年度の具体的な作業スケジュールが必要
- ・事務局とエコモー・メンバーでできる作業の振り分けを行う。

①事務局が都度メンバーに確認を求めなくても作業が進められるようにする。

②メンバーにはそれぞれのできることに力を発揮してもらうようにする。

（会議以外の場所でもメンバーに力を発揮してもらえるようにする。）

⇒以上、事務局でたたき台を作り、次回会議で検討する

※事務局での作業とエコモー☆メンバーでの作業の振り分けの意見の中で、次年度ホームページが改善されることに伴い、その活用方法について意見があった。挙げられた意見については下記の通りとなっている。

- ・定期的な情報発信（1 週間に 1 回）
- ・随時更新されるコンテンツを盛り込む（天気情報やライブカメラなど）
- ・活動者の許可を取り、地域活動リストを掲載し情報を公開する
- ・サロベツで活動している団体の紹介を盛り込む
- ・個々のメンバーでも発信できるような仕組みを作り、情報更新する  
(※会議の場で実際に更新し、方法を伝える)
- ・会議の内容を掲載（簡単に）
- ・エコモーの活動者が活動している様子を掲載
- ・更新にあたってルールを定める

## 5.活動報告と告知

事務局から今後の予定について説明

⇒ (サロエコ)・2/22 サロベツ・スノーシューハイク 告知

## 6.その他

⇒次回の会議は3月14日とした。

## 上サロベツ自然再生協議会 第 14 回再生普及部会 議事概要

- 日時：平成 26 年 3 月 6 日（木）13：30～14：30
- 場所：定住支援センター
- 出席者：23 名（個人 4 名、団体 18 名、報道 1 名）

### 1. 開会

- 資料の確認

### 2. 報告

#### ○ 平成 25 年度 普及部会の結果について

平成 25 年普及活動の結果について（資料 1-1, 資料 1-2, 資料 2）

○エコモー☆サポーター田中代表及び環境省から報告

##### 《質疑》

（構成員）今回の報告を受けて、エコモー☆サポーター活動、自然再生の普及に向けた取り組みが進んだ印象を受けた。是非今後もこのような活動を継続していただき、湿原と農業の共生をテーマとした活動が地域づくりにつながっていければと思う。

（座長）自然再生の普及に向けた取り組みを更に進めさせていただきたいというご意見なので、今後もよろしくお願ひしたい。

（構成員）前・再生普及部会座長の辻井達一先生から以前、緩衝帯の今後の活用方法についてお話を出ていたが、その後どうなったのかお聞きしたい。

（事務局）緩衝帯については、再生技術部会にてその効果のモニタリングを行っているところ。現段階で今後の活用方法は決まっていないが、今後の議論の中で検討していきたい。

### 3. 議題

平成 25 年普及活動の進め方について（資料 3）

○エコモー☆サポーター田中代表から説明

##### 《質疑》

（構成員）平成 26 年 9 月で利尻礼文サロベツ国立公園が指定 40 周年を迎えるが、エコモー・プロジェクトの活動と連携するような計画があるかお聞きしたい。

（事務局）指定 40 周年の記念行事に関しては現在検討中だが、利尻、礼文、サロベツそれぞれの地域で行われている保全の取り組みや地域の方々にスポットが当たるような内容にしたいと考えている。サロベツに関しては自然再生事業やエコモー・プロジェクトにスポットを当て、具体的にはサロベツ・エコモーDay に合わせてフォーラムを行うこと等も検討している。

（座長）平成 26 年度普及活動の進め方について、再生普及部会として承認することでよろしいか。

（一同）異議なし

### 4. その他

○特になし

### 5. 閉会

平成26年 エコモー☆サポート一年間スケジュール	4月 上 中 下	5月 上 中 下	6月 上 中 下	7月 上 中 下	8月 上 中 下	9月 上 中 下	10月 上 中 下	11月 上 中 下	12月 上 中 下	1月 上 中 下	2月 上 中 下	3月 上 中 下
E☆S会議(月1回程度開催)												
サロベツ・エコモー・プロジェクト (随時活動募集・受付)												
他団体との連携強化 (随時地域活動のリスト更新・参加)												
研修(環境学習ツアーへの参加) ※サロベツ自然語講座は月1回程度開催						環境学習ツアー 6/30 予定				環境学習ツアー 9/28 予定		

イベント工程表		担当	
ホッキ祭り でのPR活動	①事務局での企画立案・計画作成	事務局	4/16 ~ 5/8
	②E☆S会議で協力内容を確認	事務局、E☆S	E☆S会議 E☆S会議 E☆S会議
	③各関係者と打ち合わせ	事務局、E☆S	5/28 ~ 7/27 各関係者との打ち合わせ(ホッキ祭り実行委員会など)
	④事前の広報活動	事務局、E☆S	6/23 ~ 7/7 広報準備 プレスリリース・広報活動
	⑤物品準備	事務局、E☆S	6/29 ~ 7/27 パネル等、各種物品準備
	⑥当日運営	事務局、E☆S	7/28 予定
	⑦実施結果取りまとめ	事務局	実施結果とりまとめ

## 作業の振り分けについて

- ・事務局は企画を立案し、E☆S会議で提案する。
- ・E☆S会議にてメンバー全員でアイディアを出し、計画を練り直す。またイベントで協力していただく内容を確認し情報共有を図る。
- ・イベントに関わる各関係者との打ち合わせや広報活動、物品準備などについても、適宜メンバーにご協力いただきながら進める。

		担当	
サロベツ・ エコモー Day	①事務局での企画立案・計画作成	事務局	5/14 ~ 6/11
	②E☆S会議で協力内容を確認	事務局、E☆S	E☆S会議 E☆S会議 E☆S会議 E☆S会議
	③各関係者と打ち合わせ	事務局、E☆S	6/18 ~ 10/12 各関係者との日程調整・打ち合わせ
	④事前の広報活動	事務局、E☆S	8/18 ~ 9/22 広報準備 プレスリリース・広報活動
	⑤物品準備	事務局、E☆S	9/15 ~ 10/12 パネル等、各種物品準備
	⑥当日運営	事務局、E☆S	10/13 予定
	⑦実施結果取りまとめ	事務局	実施結果とりまとめ

		担当	
エコモー・ メンバー 交流会	①事務局での企画立案・計画作成	事務局	8/18 ~ 9/15
	②E☆S会議で協力内容を確認	事務局、E☆S	E☆S会議 E☆S会議
	③各関係者と打ち合わせ	事務局、E☆S	10/1 ~ 11/29 各関係者との打ち合わせ
	④事前の広報活動	事務局、E☆S	10/1 ~ 11/8 広報準備 プレスリリース・広報活動
	⑤物品準備	事務局、E☆S	10/31 ~ 11/29 パネル等、各種物品準備
	⑥当日運営	事務局、E☆S	11/30 予定
	⑦実施結果取りまとめ	事務局	実施結果とりまとめ

## 9.6 サロベツ・エコモー・プロジェクト活動募集パンフレット

サロベツ・エコモー・プロジエクト!

サロベツでは、自然再生の取り組みを身近に感じてもらえるような様々な楽しい活動が地域全体で行われています。

! サロベツを  
見つけよう

みんなで楽しむ  
みんなのくわん



サロベツを  
楽しむ

モードの  
モード



サロベツの話

サロベツの  
うたつてみ。  
アーティスト



サロベツの  
ことを伝えよう

活PR地域町豊



○ サロベツのことをまとめる

おでかけ × おでかけのナビゲイ



上サロベツの自然と魚類を学ぶ／ハネル風



ヨコモー72の行動

サロベツのサロベツサロベツサロベツサロベツサロベツ



## 9.7 新聞記事等

2013.9.28 日刊宗谷 2面記事

9時30分からサロベツ  
湿原センター集合で行  
う。  
**幻の落合沼へ**  
きょうエコモ  
一・ツアーリポート  
【豊富】サロベツ・エ  
コモー・ツアーコーポ  
3 「幻の落合沼へ！」  
(稚内自然保護官事務  
所主催)は、28日午前  
員は15人。  
参加費は無料で、定  
し、自然再生事業によ  
り水位が上昇して水鳥  
が訪れるまでに復活し  
た落合沼の現状を観察  
する。

2013.10.2 日刊宗谷 2面記事

**地場食材の料理提供も**

【豊富】サロベツ温原と農業の共生をテーマにした「サロベツ・エコモーダイ」が14午前10時～午後4時、サロベツ温原センターで行われる。木道観察会が4回予定され、環境省椎内自然保護官事務所の主催。開催2年目のこと

豊富 14日サロベツ・エコモーダイ

には、同センターに隣接するレストランで豊富牛乳や地べつ・エコモーダイが提供され、ガイドによる場産食材を使った限定メニューが発表やボート・ほら馬車運行もある。問い合わせは同センターへ。  
180-162-82-3223  
このほか、夏休み期間中に  
ガイドを行った大学生・高校生がアレンジャーによる活動  
を行った。このほか、夏休み期間中に  
ガイドを行った大学生・高校生がアレンジャーによる活動  
を行った。

## 14日 紅葉や“渡り”観察 サロベツ食べる

環境省稚内自然保護官事務所では、14日前10時からサロベツ湿原センターで、「サロベツ・エコモードay」を開く。会場では「サロベツを食べよう」と題し、豊富牛乳や豊富町産の食材を使った料理をこの日限定で提供。秋の木道観察会では、ペランガイドが交代で秋の湿原を1時間程度案内（午前10時30分、同11時30分、午後0時30分、同3時）。湿原の紅葉や渡り鳥観察する。ボートやトラクター、ボニーの幌馬車に乗れるなどの体験メニューがある。

また、同事務所では19日にも泥炭採掘跡地の見学ツアーも予定している。

## 19日 サロベツで実施 湿原の今を巡る

環境省稚内自然保護官事務所では、19日午後1時からサロベツ湿原センターを開く。サロベツ・エコモードay（テイ）」を開く。会場では「サロベツを食べよう」と題し、豊富牛乳や豊富町産の食材を使った料理をこの日限定で提供。秋の木道観察会では、ペランガイドが交代で秋の湿原を1時間程度案内（午前10時30分、同11時30分、午後0時30分、同3時）。湿原の紅葉や渡り鳥観察する。ボートやトラクター、ボニーの幌馬車に乗れるなどの体験メニューがある。

また、同事務所では19日にも泥炭採掘跡地の見学ツアーも予定している。

環境省稚内自然保護官事務所では、昭和45年から平成15年まで湿原の泥炭採掘が行われ、間に及んでいた。現在は環境省レジンジャーとNPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク自然ガイドが主導。普段立ち入ることのできない調査用木道を特別に通行し、泥炭採掘跡地や自然再生の現状を知ることができます。

参加料は無料（定員15人）。防寒着と長靴を持参すること。悪天候時は翌日に順延。参加希望者は18日までにサロベツ湿原センター。

## センターを外縁部に移動 ■ 裸地に網掛け



サロベツ湿原再生事業が進む泥炭採掘跡地を見学する参加者たち＝豊富町

維持され、希少植物や野鳥も多いうら木サール条約指定湿地である。

利尻礼文サロベツ国立公園のサロベツ湿原で、農地開発や泥炭採掘による湿原が縮小を止めようとして、環境省が湿原再生事業を取り組んでいた。

組んでいた。19日には事業を紹介する催しがあった。

同湿原は国内最大級の高層湿原。水面より高い位置にあって雨水だけで湿原がある。埋め戻された場所も植

生は回復していない。  
湿原の面積は1947年の約1万5千haから1999年には半分以下の約6700haに。危機感を抱いた同省は2005年から湿原再生事業を始めた。

これまで、湿原の真ん中にあつたビジターセンターを外縁部に移したほか、2年前から泥炭採掘跡で、裸地に植物の種が定着しやすいように、地面にヤシの織維で編んだ網を掛けたり溝を掘ったりしている。

再生事業を紹介する見学会では、裸地に網を掛けた場所が公開された。参加者は「泥炭採掘跡地がどうなっているのか、初めて見えた」と、担当者の説明に耳を傾けていた。

「エコ」「モー」の最前線へ

広大な湿原を抱えるサロベツでは、戦後の農地開発により湿原の面積が約半分にまで減少した。一方で、かつての湿原は排水路整備や土地改良を積み重ね、道からなる造語だ。

「エコ」「モー」という言葉を存じだらか。実はこれが、サロベツ地域で進められている「湿原と農業の共生」をテーマとした事業や活動の愛称である。エコロジーの「エコ」と、牛の鳴き声の「モー」

「エコ」「モー」の最前線へ

内有数の酪農地帯へと発展を遂げた。しかし、湿原と農地が隣り合っているため、温原からは水が抜けて乾燥化が進行し、農地も排水不良により生産性が低下するという問題に直面した。

地域にとって重要な両者をいかに共存させるかということがサロベツの大きな課題になった。そこで、2005年度には専門家や地元住民、関係機関により自然再生協議会が設立され、温原の再生や農業の振興を目的とする事業が始まつた。「自然再生」と聞くと専門的で難しいものを想像しがちだが、温原と農地の間に設けられた緩衝帯や温原の植生回復試験地など現地を見てみると意外と分かりやすく、納得できることがある。

先日、自然再生事業地を訪ねるガイドツアーが開催された。今年が2年目だが、普段は入ることができるない調査用木道を歩いて温原の奥へ行く特別感もあり、ご好評をいただいた。自然と農業の共存に向けた取り組みの最前線に興味がある方は、ぜひ来年のツアーレポートを期待いただきたい。



鳴崎 晓啓

(豊富・NPO事務局長)

「エコ」「モー」という言葉を存じだらか。実はこれが、サロベツ地域で進められている「湿原と農業の共生」をテーマとした事業や活動の愛称である。エコロジーの「エコ」と、牛の鳴き声の「モー」

広大な湿原を抱えるサロベツでは、戦後の農地開発により湿原の面積が約半分にまで減少した。一方で、かつての湿原は排水路整備や土地改良を積み重ね、道からなる造語だ。

「エコ」「モー」という言葉を存じだらか。実はこれが、サロベツ地域で進められている「湿原と農業の共生」をテーマとした事業や活動の愛称である。エコロジーの「エコ」と、牛の鳴き声の「モー」

## 23日交流会開く モー、メンバー活動を報告

【豊富】上サロベツ自然再生協議会エコモードサポーター主催の

「サロベツ エコモードメンバーアルバム」  
と。 (橋詰博)

23日午前9時30分から  
サロベツ温原センター  
で行う。

元鉄路温原自然保護官事務所の竹中康進さんが鉄路温原の自然再生「ワンドグリンドアッププロジェクト」の活動を紹介するほか、今シン・スンサロベツを舞台にその魅力を発信する活動を展開した団体が成果を報告する。

参加は自由。詳しく  
は、サロベツ温原セン

ス 場 ト ト 神 一

## 楽しい自然再生

豊富 サロベツの魅力発信

豊富上サロベツ自然保護官事務所の竹中康進保護官が、以前携った釧路湿原自然再生プロジェクト「ワンダグリンサープロジェクト」の活動内容を説明。アイスホッケーチームの日本製紙のレインズ選手を巻き込んでタンチョウの冬の餌場作りをした活動や、試食を兼ねて外来生物のウチダザリガニの捕獲体験を実施した事などをジョークを交えて紹介。あの手、この手を使って自然再生活動の楽しさをPRし、参加してもらつたと喜ぶ。

【豊富】上サロベツ自然再生協議会のエコモー☆サポーター主催の「エコモーメンバー交流会」は、23日サロベツ湿原センターで開催。釧路湿原の自然再生に関する講演のほか、サロベツの魅力を発信する活動を展開している団体がその成果を報告した。

約30人が参加。羽幌



エコモーメンバー交流会

リサイクル適正の表示：印刷用の紙にリサイクルできます

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、  
印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「A ランク」のみを用いて作成しています。